

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表 目 次

地 区 名	開 催 日	場 所	掲 載 ペ ー ジ
竹田	7月11日	若宮公民館	1～3
三芳	7月19日	三芳公民館	3～7
中津江	8月1日	中津江振興局	7～9
東有田	7月13日	東有田公民館	10～11
田島	7月20日	田島二丁目公民館	12～13
桂林	8月17日	桂林公民館	13～16
中川・馬原	7月14日	天瀬公民館	17～19
五馬	8月3日	天瀬公民館五馬分館	19～20
西有田	7月19日	西有田公民館	21～22
大山・鎌手	7月28日	大山振興局	22～25
隈庄手	7月20日	日隈公民館	26～28
前津江	7月29日	前津江公民館	28～29
五和	8月5日	五和公民館	30～32
光岡	7月25日	光岡公民館	33～34
夜明	8月1日	夜明公民館	35～36
大鶴	8月8日	大鶴公民館	37～40
咸宜	7月27日	咸宜公民館	41～43
上津江	8月2日	上津江振興局	44～47
高瀬	8月10日	高瀬公民館	47～49
朝日	7月28日	朝日公民館	50～52
小野	8月4日	小野公民館	52～54
三花	8月8日	三花公民館	54～56

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
A班 班リーダー 宮崎福祉保健 部長	竹田 (16)	7月11日(月) 19:00~20:40 若宮公民館	<p>①日田市防災メールで、毎週入ってくる週間天気予報の情報は必要なのか。</p> <p>②熊本地震で、再開発ビルのゆれがひどく、パトリアへ2世帯が避難したと聞いた。毛布などの物資の配給はどうなったのか。</p> <p>(意見)災害時に面倒を見ることができる若い人がいない。60歳以上の高齢者が多く、近所で声をかけあう人を見つけないので精一杯の状況。組織をつくっても、高齢者が高齢者の面倒を見る状態である。</p> <p>③小ヶ瀬水路から水を入れすぎて、前回東部中のグラウンドが水浸しになった。増水時の水量調節のバランスは考えているのか。</p> <p>(要望)小ヶ瀬を開けすぎると中野川の水位も上がり、東町1・2丁目と本町・中本町は低いいため水が溜まる。調整ができるものなら調整して欲しい。</p> <p>(市の提案)自主防災組織の件で、この前の地震の時、たまたま土・日だった為市職員全身体制で対応したが、市として被害状況把握のため電話対応や情報整理や避難所開設、毛布等の物資の配送やそれを伝達する人間などいろいろやっていると人手がたりません。振興局などでは、各避難所を巡回する体制にならざるをえませんでした。これが平日であれば普通の業務をやりながら災害対応となると人間が足りないと考えられます。ぜひ、避難所の運営などは住民の皆さんで運営ということも考えていただきたい。自主防災組織というのは自分たちで災害を防止するのではなく地区の皆さんがすみやかに避難できるような声掛け等をやっていただきたい。これから皆さんの意見を聞きながら形にしていきたいと思っています。市の職員も数に限りがあるのでぜひ皆さんのご協力をいただきたいというのが今日の趣旨です。若い人、人手がたりないことも承知しています。皆さんができることを少しでもお手伝いいただければというのが今日の自主防災組織のお願いの趣旨です。</p> <p>④災害時の地域力を何歳ぐらいの年齢を想定しているのか。今、後期高齢者や独居高齢者が多い。例えば60歳代を想定してこの位は動けるだろうなど想定しておく必要がある。独居老人の方に話を聞くと雨が降って風が吹くと怖くてしょうがない。公民館等をあけて避難しても、その後のケア(対応)ができるのか。弱者の方についてどのように考えているか。</p>	<p>①ウェザーニュースとの契約で金曜日に自動的に入るようになっていきます。</p> <p>②パトリアは指定避難所であるので、市が物資を配送しています。</p> <p>③小ヶ瀬水路関係は、平成24年の水害後の防災計画の見直しの意見交換会で意見をいただいた。物理的・施設的に無理があったと考えています。</p> <p>④各地区で年齢構成等が違うので、その地域で出来ることを考えてやっていただきたい。例えば、災害要援護者の方には、具体的に誰が支援するのか等を地域で計画をつくってもらいたい。また、お世話ができる人は全体の計画づくりや組織づくりをリードしていただきたい。個人情報保護の面で、要援護者の情報を自由に提示することはできません。要援護者の方には、個人情報の提示の了解をえる必要があります。市は、これから地域の方々と協議し組織を作っていく。地域が協力して皆が助かるように世話をする組織を地域で作っていただきたい。</p>	<p>○「観光祭時の駅前広場のテント」について</p> <p>(意見)観光祭時の駅前広場のイベント場がパトリア前に移動し活気がなくなった。また、テントも乱立しているだけで、人の流れも考えられてなく利用しやすい工夫などもなされていない。人が動かない、商品が売れない。これなら、駅前のテントは必要ないのでは。駅前日は日田市の玄関である。行政が、実態をもっと把握して、人の流れや集まりを集中させる必要があるのではないかと。</p>	

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>(意見)昔は隣近所助け合ってやっていたが、今はそれも個人情報だと言われる。個人情報という壁を破るのは難しいのだけれど、何かできないものか。自治会長が情報を得るのはもちろんだが、近所の「わきあいあい」のコミュニケーションをとる必要がある。</p> <p>⑤東町1丁目の狭い水路が、大雨時に川の方が水位が高くなると逆流して、側溝から噴水のように水が上がってくる。ポンプアップで三隈川へ流すなど、水路系の見直しなどの計画はないのか。</p> <p>⑥災害の危険性は、人によって、過去の災害経験によってとらえ方が違うし、時が立つと災害の怖さを忘れ大丈夫だと思ってしまう。非常時の持ち出し品についても、市報にも掲載されているが、市からの物品の斡旋等はやできないか。自主防災組織からもほしい防災物品の要望も聞く。どこにいけば買えるのか販売先だけでも教えてほしい。</p> <p>(意見)今日のような大切なお話に、祇園準備などで参加者が少なくて申し訳ない。若宮町では、市職員や消防団員など非常参集しなければいけない人以外のすぐにいられる人で30人規模の自主防衛組織をつくり、ヘッドランプ付の黄色いヘルメットを配布している。熊本地震の際は、指定避難所の若宮小学校体育館、また、若宮公民館も開けて対応した。日田市の対応はかなりよくしていただいたと思っている。しかし、中には自治会長の指示がなかったから動かなかったという人もおり、自主防災体制の課題ではないか。若宮町では、指定避難所のピラを全戸に配布している。毎年、防災会議は開催しているが、避難訓練は実施できていない。災害後は、防災意識も高まり訓練も実施できていたが、時と共に意識が薄れてくる。本日の話し合いは重要な議題であると思う。</p> <p>⑦災害時にできる多くの廃棄物の処理施設はあるのか。</p> <p>⑧その連携はできているのか。</p>	<p>⑤技術的・各河川や水路の権限の問題・財政的問題もあるが、今日は土木関係の職員がいないので持ち帰って検討なり確認をしたい。※「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表NO.23に記載】</p> <p>⑥持ち帰って検討させてもらう。※「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表NO.1に記載】</p> <p>⑦災害時廃棄物については、まず、分別して今ある施設で対応しています。対応できない場合は周辺自治体に要請し協力をお願いすることになります。</p> <p>⑧あらかじめそういう協定はしていません。今回の熊本地震でも災害廃棄物の受け入れについての連絡があり、こちら速やかにお答えをしました。もし日田市でそういうことになっても受け入れ等の処理については速やかにできると思います。ただ実際の処理には時間がかかるし、人員も足りません。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑨被災者と担当者がよくコミュニケーションをはかり、ボランティア等と連携して、分別した廃棄物の流れをつくる必要がある。支援物資の管理場所、被災者に届けるラインなどそういう備えがあるのか。</p> <p>(意見)自主防災は、人にたよるのではなく、自分たちの身近で行動に移すことが大切。現在、本町二丁目では、土嚢づくりやAED研修を実施している。防災を自覚し、「自分が何をしたか」ということが大切。そうしたうえでまた注文なりをつけていけば良いものになるのではと思っている。</p>	<p>⑨(平成24年の対応)避難物資の受け入れルートは、防災計画で決まっています。廃棄物の処理は、ボランティアの人たちや建設業界の協力を得て、仮置き場において、少しずつ清掃センターに運んで処理や埋め立て処理を行いました。(平成3年の台風19号の対応)たくさん災害廃棄物が出た。清掃センターでは一斉に処理ができなかったので、学校のグラウンドに建設業界、ボランティア、市職員がトラック等を出して、廃棄物を集めて徐々に清掃センターに運ぶといった手順で処理をしました。24年の救援物資については、仕分けしてどこに配送するかは難しい部分であった。数量や受け入れ態勢ができていない等そういう反省のもと防災計画を少しずつ見直しをしてきたが、まだ充分ではなかった。</p>		
	三芳 (34)	7月19日(火) 19:00～20:35 三芳公民館	<p>①指定避難所の三芳小学校、東部中学校、三芳公民館は建設されてからかなり年代が経っており、建て替えも考えられているが、新しく出来たときの耐震基準なのか、建築当時のままの耐震基準で大丈夫なのか。</p> <p>(意見)古金町の公民館は築17年経っているが、今回の熊本地震で、当地区では、住んでいる建物が古く、余震時に一人では怖いと一人暮らしの高齢者の女性5人が、8日間滞在した。公民館は、明るく暖房やテレビなどもあり、友達と一緒にいると心強いと感謝された。また子どもの一人が怖くて家に入れないということで公民館に一日泊まった。</p> <p>②自主避難場所は、自治会が開設するということになると思うが、自主避難場所での災害や事故がおこった場合の責任の所在はどうなるのか。</p>	<p>①現状で、耐震化の基準は満たしています。昭和56年6月1日以降に設計された建物については、耐震基準を満たしていると判断しています。</p> <p>②自治会保険などで対応が出来るかどうか、その災害項目が入っているかどうかということで自治会には答えてきたが、どれで対応できるかは答えを持ち合わせていないので後日回答します。 【別紙対応方針等一覧表NO.2に記載】</p>	<p>○『空き家』の管理について</p> <p>①空き家に対して、隣人の高齢者が、放火など防犯上心配であるという声を聞く。努力していただいていると思うが、不安な空き家については処理していただきたい。</p>	<p>①H25年に日田市の空き家実態調査を行った結果約1,100件の空き家の実態が判りました。その空き家を、活用できるもの順にABCDの4段階に分け、C・D段階(倒壊の恐れがあり、倒壊した場合近隣や道路に悪影響があるもの)は、建築住宅課が年に一度再調査をし、窓が割れて誰か入ったり、塀が倒れそうになっているような危険な空き家については、持ち主と連絡をとって改善をお願いしています。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>(意見)古金町では、公民館避難者に対し、特に火の取り扱いに関して注意喚起を促した。他の点についても注意して滞在していただいたと思っている。</p> <p>③災害が起き、すぐには遠くの指定避難所にいけない場合、緊急に、自主避難所へ避難する指示を自治会長が出したとき、その場で起きた災害・事故の責任は、自治会長にあるといわれると責任が重過ぎると感じる。市の方としても、そういうケースの場合の対応を考えてもらいたい。</p> <p>(意見)刃連町では、7月10日に町内自主防災訓練を、震度7以上の地震が発生したという想定で実施した。朝9時に指令を出し、班長さんからそれぞれのブロック長に、災害時要援護者の75歳以上の単身者等(所在は班長に事前周知)の安否確認を報告してもらった。30分以内に、班長からブロック長に安否確認ができた報告があった班は、49.2%、なんらかの都合で報告がなかったという班も25%あった。30分以内での報告が半分しかないということは、災害時に、いかに早く伝達ができるシステムを作るかが、今後の地域や行政の取り組みとして重要であるとする。防災無線や天ヶ瀬、大山町等にある家庭用の防災放送も効果があるのではないかと思う。いかに早く班長さん等に伝達がいくかということが、(要援護者の案否確認など)自治会としても市としても現場の情報をいち早く把握することにつながる。</p> <p>④下井手町では、国道に平行して川が流れており、大雨時には珍珠川から取り入れている水が増え、家屋に水が入ってくる家が何軒かある。大雨警報時は、市の方から水門を管理している日高町の方に連絡が行くと聞いている。私共も、心配なので水路の管理者を通して、重ねて、日高町の方へ水門の開閉を要請している。下井手の場合は水門があり、早めの水の調整が必要なため二重の対応をとっている。水門への流水の調整の詳しい流れを教えてください。また、資格をとった地域の防災士に対し、市として何かフォローをしているのか。たとえば、年度末等に吹上町等の防災資料等を渡すなどしているのか。</p> <p>(意見)桃山地区は高台にあり水害に関しては、大丈夫だという意識が強く、緊急性がないと感じている。毎年、市の防災課を通じて学習会を実施しているが、200世帯ありながら参加は、多くて20人程度であった。今年も県の防災支援センターの方に来ていただいて、避難持ち出し品のこと等について学習した。本町は、出来て57年間、震度5強の地震は一回もなく青天の霹靂であり、今回の熊本地震で少しは危機感が出てきたと思う。熊本地震では、住民への事前のお知らせなどの課題は残るが、午前2時に電気を点灯して対応した。4月につくった防災組織についても、実働できる組織へ見直しをしていきたい。そのためにも、地域住民の防災意識の高まりが不可欠であるが、毎年学習会を開催しても出席率が悪く、悩ましい課題である。</p>	<p>(意見)古金町では、公民館避難者に対し、特に火の取り扱いに関して注意喚起を促した。他の点についても注意して滞在していただいたと思っている。</p> <p>③その件については調査をして後日回答したい。24年の災害後、防災計画の見直しのための各地区での意見交換会の中でも、自治会長から、避難をさせて(何かあったら)自治会長が責任をとらなければいけないのかという質問が多くあったが、自治会長には責任はないと回答させていただきました。</p> <p>④ただいまの水門の関係は、土地改良区管理の小ヶ瀬水路のことで、この水門については下水道課が委託をしている。この水門を閉めても下流の下井手付近では、30分から1時間ぐらいいないと水が減らないという状況にあるため、大雨洪水警報が出た時点ですぐに水門を閉め、珍珠川に水を落とすという対応をしています。市では、「防災士のフォローアップ研修」を、毎年、防災士の資格を取った方を対象にして、秋から2月ごろにかけて実施しています。</p>	<p>(要望)指導していただいているのは解っているが、なかなか進まない。危険空き家周辺にすむ高齢者の方は心配しており、より早く解決していただくような対策をとっていただきたい。</p> <p>←【別紙対応方針等一覧表NO.2に記載】</p> <p>○「緊急医療情報キッドについて」</p> <p>②一人暮らしの要支援者宅を訪問したら、H24年度付けで「緊急医療情報キッド」が配布されていた。その後、一人暮らしの方が増えているのだが、その後の情報は、自治会が市にあげないと(冷蔵庫には)シールやキッドの配布はしないということか。</p> <p>③このこと(緊急医療共同キッド)について知らなかった。結構、地域に、要支援者がいるのだがシールを(冷蔵庫に)貼っている世帯は少ない。</p>	<p>②「要支援者台帳」につきましては、自治会や民生委員さんの協力を得て毎年、更新しています。その更新時に、要支援者の方を把握していただき、引き続きご支援ご協力をお願いしたい。「緊急医療情報キッド」については、65歳以上の一人暮らしの高齢者世帯、高齢者のみの世帯等の皆さんへ配布していますが、新たに希望される方は地区の民生委員さんにご相談ください。</p> <p>③実施にあたって説明不足になっている面もあるので、周知を図っていきたい。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>(意見)災害時要援護者情報について、自治会長と民生委員が持っており、援助者も決まっているが、いざ災害が起きたときに、仕事などで援助したいができない状態も想定される。災害時の最大公約数としての救援体制づくりを考えているところである。</p> <p>(市の提案)今回、災害をテーマに限定して懇談会を開催しているのは、自治会長を中心に防災組織をお願いするのが目的だが、実際厳しい実態があると思っている。それで、一人でも多くの地域の方に理解を求めるためにこの懇談会を開催している。水害などは、見通しが持てる場合が多いが、地震はいつどこで起こるかわからないという災害。それに100%の対応ができるかというとはほぼ不可能だと思っているが、災害が発生した後、出来る限りの対応をしていくという構えで良いと思う。今日、参加していただいた方が、さらに一人でも多くの市民へこの話を伝えていただかないと、640数名の職員で、通常業務もありながらの対応に限界がある。全員で、「命あつての物種」だということを含めて、しっかり災害に向き合う覚悟をしなければいけないということでお話をさせていただいている。今回、参加していただいている皆さん方には、各自治会長さん方はそれぞれのお仕事を持ちながら、そして大きな悩みを持ちながら、地域の先頭に立ってお世話していただいている状況なので、ぜひ他人事と思わずに自分たちならこういうことができるか、こういう情報の発信の仕方をしてくれると地域住民としてわかりやすいだとか、意見を出していただきたい。</p>			
			<p>⑤桃山町の者ですが、下のほうで避難するより桃山の住宅や自動車学校を利用したらどうかと思う。舗装もしてあり地震でも大丈夫ではないかと思う。</p>	<p>⑤水害など、垂直避難でないと逃げられない場合もあり、民間施設への避難ができないのかということだが、検討してみるのも良いかもしれません。指定避難所というのは公共施設(市の施設)を指定するのが一般的です。今のご提案のケースは緊急の場合にそこに逃げたらということで、自主避難所となります。自主避難所であれば、自治会長をはじめとした地域と民間施設の方との話で約束をしていくことになります。</p>		
			<p>⑥三芳小淵町では24年の水害を受けて、町内に20万7千円の補助を受けて、公共電力が切れた時を想定し、発電機や投光器などの防災機器を購入した。小ヶ瀬水路の関係で浸水もあり、町内では水害を最も心配して、25年度は土嚢づくりの訓練を行った。26年・27年は、土嚢づくりと合わせて、自家発電機や投光器の使用訓練を実施した。今年、熊本地震のおり、(自治会長として)町内を見回り、今回心配したのは火災であったが、幸い、何もなかった。防災士2名と4つのブロック長と相談し、火災訓練を実施した。消防署により一般的な防災の話だけでなく、各家庭での消火器使用訓練も実施した。地震は想定外であった。地震の翌日、民生委員が一人暮らしの高齢者世帯を訪問し、不安感、気が気でない、頼る人のいない寂しさを聞き取った。</p>	<p>⑥今回の地震では、各指定避難所には、保健師が巡回して、避難者の精神的な不安などを少しでも解消できるよう対応しました。今回、余震が続いたものの、幸い、重度のケースはありませんでした。しかし、市役所に10日間ほど心の不安を抱えて避難された方もいました。重症の方は、病院での受診を進めているが、バックアップ体制としては保健師が巡回するという形で心のケアを実施しています。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑦防災メールに浮羽方面の情報が入ってくる。何か関係があるのか。</p> <p>⑧三花、小野、東・西有田、桂林、光岡などの住民は24年の水害を経験しているが、三芳地区では昭和28年以来水害を経験していないため、災害に対する意識の違いがある。民生委員の会議の中でも、経験した地区の人は防災に対して敏感になっていて、備蓄倉庫の整備や避難訓練等を行っている。体験していないと災害の映像等を見ても防災意識が希薄になりがちになるので、防災士等を中心に力を入れて指導をお願いしたい。地震についてだが、東部中や三芳小・公民館が指定避難所になってはいるが、高齢者等実際には行けない人がおり、町内の公民館を利用する必要があるのではないか。本地区では、今回の地震の際、自治会長中心に、消防団員経験者、公民館役員が公民館を開けたら、家にいると不安だという人が20人ほど集まった。怖い、寂しい、みんなと一緒に居れたということに感謝されて帰った。町内の公民館など地域の広い場所を開設して利用できるようにしていただきたい。災害が起きたとき隣保班長にいろんなお願いをすることは仕方ないが、班長の中にもかなり高齢者の方もおり、班長だけに頼るのも課題。地域にどんな人がいるのか、実際行動できる人を日頃から網羅していくべきであると思う。</p> <p>⑨三芳駅前の防災無線が聞こえづらい。もう少し、改善できないか。</p> <p>(意見)電話で内容を聞けるという情報も一般の方にはわからないのでは。もうひとつ適切な場所にスピーカーをつけるということが、できればよいと思う。</p>	<p>⑦エリアメールは自動でそのエリアの携帯に入ってくるようです。場所によって入ってきたり来なかったりします。ただ、気象災害は、意外と西の方から来ることもあるので、浮羽の情報もあなどれない状況です。</p> <p>⑧吹上町の事例を紹介したとおり、組織を見直す必要があります。地域住民の実態に応じた見直しを進めていってほしいと思っています。また、南阿蘇の避難所や役場で話を聞いてきたが、避難所での生活が少し長くなると自分のプライバシーを含め避難所内での暮らしの自治もうまくいかないということでした。日田でも、長期化する場合を想定してプライバシーを守り、ストレスを感じさせない避難所体制づくりも必要と考えています。</p> <p>⑨防災行政無線については、大雨時は雨音や窓を閉め切っているので聞き取りにくいというのは承知しています。個別には業者と共に、修正・調整できるものについてはさせていただきたい。電話でも情報を開けるシステムもあります。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑩地震に伴う大山方面の交通止めを表示する道路標示が、茶色地に黒字で書かれてあり見えにくい上に、設置場所も大変わかりにくかった。また、表示の仕方もただ通行止めではなく、どこまでが通行可かわかるような詳細な情報を明確に表示するべきではないか。土木事務所には、現場を見て表示等を設置してほしいと要請した。よそから来た人にも優しい表示が必要。また、地震後に「落石注意」という看板がいたるところで見られたが、どんな注意が必要か。その原因を追究した対応がほしい。</p>	<p>⑩市としても土木事務所に要請して、改善していただいている部分もあります。今回、誰が一元で管理するのかという課題も見えたので、今後、万が一、通行止め等があったときには関係機関と話をしながら対応できるようにしていきたい。「落石注意」については、「落石の可能性があるところ」「道路上にすでに落石があるところ」ととらえて運転する上での注意喚起をしようということだと思います。</p>		
	中津江 (32)	8月1日(月) 19:30～21:30 中津江振興局	<p>①防災組織を立ち上げようとしているが、なかなか難しい。それは要支援者名を名簿に載せる形になると個人情報の関係でひっかかってくる。2つ目は移住してきた方で自治会に入っていない人がいるため、家族状況が把握できない。この2つが課題となっている。これから話し合っていこうと思っているがどうやって解決していけばいいのか。</p> <p>②自分の自治会では、各班長には自分の集落で災害があった時、だれが車に乗せて避難するか考えておくように依頼しているが、名簿は作っていない。名簿は作ったほうがいいのか。</p> <p>(報告)栃原3班では、去年、80歳以上の家庭への声掛けの担当を決めていた。それが今年の地震時に役に立った。担当を決めて避難先がわかっていると災害時の確認もできる。防災訓練時にそういう話し合いができると良いと思う。</p> <p>③昼間、村に居るのはほとんどが高齢者である。機能別団員に要支援者の避難を協力してもらいたい。</p>	<p>①災害対策基本法の中では市(福祉の部署)が持っている情報で名簿を作っても良いとなっています。しかし、本人の承諾がないとスムーズに活用する訳にはいきません。対象となる方とコンタクトをとっていただきたい。自治会に入っていない方は、災害対策以前に自治会に入っていたかと思っています。しかし強制もできないので、日頃から地元の方々に移住してきた方との関係を作るように努めていただきたい。要支援者台帳は自治会長や民生委員に協力していただき、毎年更新しています。対象者は7,000名ほどいるが、現在同意を得て登録をしている方は2,000名ほどです。個人情報の関係もあり、なかなか同意をいただけない難しい状況であります。日頃から隣近所とコミュニケーションをとりながら台帳にない方とも意志疎通を図るのも一つの手段と思います。</p> <p>②だれが見てもわかるような名簿を作ったほうがいいと思います。</p> <p>③昼間の消防力の低下については、消防団の会議の中で協議したい。</p>	<p>○「ふるさと納税について」</p> <p>①日田市からふるさと納税での支出の金額は分かるのか。</p> <p>○「家屋の耐震診断・改修について」</p> <p>②耐震改修工事の補助は、中津江は殆どが地滑り地域となっているが、それでもこの補助の対象となるのか。また改修の詳しい内容も解らない。</p> <p>○「猟友会への補助金について」</p> <p>③猟友会の人イノシシを1頭捕ると補助金が出るが、今はその補助金だけでは猟師さんは生活ができない。防護柵や電柵に補助金を出しているが、それより猟師さんにお金を出したほうが、効果があがるのではないのか。</p>	<p>①「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.12に記載】</p> <p>②「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.21に記載】</p> <p>③県にもお願いしたが、県の考えは猪は子どもを5頭も6頭も産むので駆除で数を減らすのは難しい。対策としては柵で囲むのが主になっていくのではないかと話でした。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>④災害が発生し、道路が寸断され避難できないこともある。集落と集落を結ぶ昔の『里道』をコンクリート舗装することも防災対策の一つではないか。</p> <p>(市の提案) 避難所の運営の在り方などについてもご意見等をいただきたい。振興局職員は12名しかおらず、本庁職員の応援を得てやっているが隅々までの対応は難しい現状であるので、何かご意見があれば出していただきたい。</p> <p>⑤栃原の小学校体育館に避難したが、トイレが和式しかない。</p> <p>⑥避難先の設備状況を把握できていなかった。設備の内容で、どこに避難するかを決めるというのも良いのかなと思う。</p> <p>⑦避難後帰宅するタイミングも自己判断だが、災害情報を元に「今はこういう状態だから大丈夫」とか自己判断によらない予想ができてしかるべきと思う。</p> <p>⑧対策本部を設置した時、振興局はどこの組織にはいるのか。</p> <p>⑨このような会合の時間延長はできるのか。</p> <p>⑩防災無線確認ダイヤルが設置されたが何回線あるのか。</p> <p>(意見)6回線では少ないのでは。災害があった時、全然つながらないと苦情がくるのでは。今後検討していただきたい。</p>	<p>④地域の方たちが自分たちで整備をする時は、セメントなどの材料を提供する事業があるので検討していただきたい。</p> <p>現在、孤立集落の支援として、備蓄倉庫の場所や備蓄品について見直しを検討しています。</p> <p>⑤和式トイレの問題も避難所は学校などが多いため、多目的トイレやシャワー室、情報を得るためのテレビもないのでこれから整備していくようにしています。</p> <p>⑥防災訓練の時、避難場所を1度見ておくといいたいと思います。</p> <p>⑦できる限り情報提供するようにしているが、地域の細かい情報についてはわからないことが多い。市役所が発する気候情報等を参考に判断していただきたい。わからない時は市役所の対策本部に問い合わせをして欲しい。</p> <p>⑧本部運営の情報伝達部の支部対策班に振興局が入れます。</p> <p>⑨時間になったので終了するということはありません。この場では思いつかなかったり後でということがあれば防災危機管理室に電話していただければ、その時返事できない場合は後から返事をします。</p> <p>⑩6回線です。</p>	<p>○「地すべり危険個所の指定について」</p> <p>④中津江は地すべり危険地帯となっている。6～7年前ハザードマップをもらったが、あれは地図上で判断したのであって、専門家が現地を見て危険地帯と判断した所は1ヶ所もないと聞いている。できれば専門家に現実に目で確認してもらいたい。</p> <p>○「地震災害関連」</p> <p>⑤地震災害による特別予算が県から出ているのか。</p> <p>(要望)地震によって道路にひびが入って段差ができ、そこに雨がたまっている。早急に手当てをして欲しい。</p> <p>○「生活圏について」</p> <p>⑥中・上津江の生活圏は小国町である。病院・バスの乗り入れ・救急車・消防などを県で線引きをしないで欲しい。買い物は小国町に行くが、車の運転をしない交通弱者は買い物に行けない。熊本県と話をしてなんとか行き来ができる状態にして欲しい。</p>	<p>④「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.3に記載】</p> <p>⑤県からは出ていません。会社や事業を営んでいる方で影響のあった方には県が融資する制度があります。市の防災対策にかかった費用は国からの特別交付税というのが年度末に支給される資金があり、これから算定する予定です。</p> <p>⑥「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.15に記載】</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>①防災危機管理室について、市役所の部署なので人がたびたび変わると思うが、防災のスペシャリストなどの専属の人を何人か配置しているのか。</p> <p>(意見)熊本地震で大きな被害を受けた市は、パンク状態で状況も把握できない状態であった。専門的なスタッフを育成するために、東北や熊本などの被災地に派遣し、対応を学ばせる。そういう経験をした多くの職員が市役所にいるというのも防災につながると思う。</p> <p>②自主避難所には一切物資の配布はない。旧日田市内と山間部の旧郡部では状況がまったく違うので、指定避難所と自主避難所の線引きをはっきり分けないで状況に応じた対応をして欲しい。</p> <p>③鯛生には2か所避難所があるが、避難所遠く、大雨や地震の直後は家のほうがずっと安全。地域毎、自治会単位に考えることが必要。避難所の取り扱いを検討してほしい。</p> <p>(意見)事前準備が必要で、自治会や集落単位でこういう時は一旦地域の公民館に集まって対応を考えようとか、地域に合った対応をするということ。</p> <p>(意見)防災訓練のやり方を隣保班毎に防災について話し合うといった訓練にしたらどうか。</p>	<p>①専門の職員を育てようという考えはあるが、本当の専門家、警察や自衛隊や危機管理を専門にやってきたという人を採用するところまでは考えていません。</p> <p>②指定避難所にどうしても行けないとか一杯で入れないとかであれば、当然、自主避難所を指定避難所にすることもあります。</p> <p>③そのような情報を取り入れることが1番大事です。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
B班 班リーダー 梅山市民環境 部長	東有田 (28)	7月13日(水) 19:30~21:00 東有田公民館	<p>①地震で発生した落石箇所の調査をしていただけないか。</p> <p>②自主防災組織が自主避難所を開設した場合、その招集時等で事故等があった場合どうなるのか。</p> <p>③市から、避難指示が出る前に自主防災組織としての避難はしない方がいいという考えか。</p> <p>(要望)市報の配布について、羽田町は、遠い所で約6kmある。かなりの傾斜地であり、落石注意等もある。こういう状況の時は、広報を郵送していただくことはできないか。</p> <p>④自宅の下が土砂崩れしている。昨年から壊れ、今年また壊れた。現在復旧工事をするように決まっているが、この問題は、6、7年になる。ここは危ないということで、急傾斜地域で申請をしたことがある。実際(市から)見に来たが、日田市にこういうところは、いくらでもあると言われた。考えが甘いのではないか。</p> <p>⑤告知放送については、以前、クレームがあり止めたと思うが。今は防災無線のみ。大雨の場合、防災無線は聞こえないので、告知放送の活用を考えてもらいたい。</p>	<p>①振興協議会から、8月5日、市長あてに要望書の提出があるので、そこで正式に回答します。 【要望時の回答】 地震後、初期対応を行い。今後、現地の状況を詳しく調査し、地元の方と協議を行いたい。</p> <p>②自治会保険を掛けていると思うので、その保険で対応していただきたい。 ケースバイケースであるが、兵庫県での裁判の例。市が避難勧告を出し、市民が避難所へ避難する途中、水に流され側溝にはまり亡くなった。その判例として、避難指示、勧告は、あくまでも指示、勧告であり命令ではない。避難する、しないは本人の判断。状況も本人の判断で、市に責任はない。自己責任という判決が出た例があります。</p> <p>③市も安全第一で早めに勧告を出すのが、自分たちの判断で早めの避難を心掛けていただきたい。</p>	<p>○ふるさと納税制度について (提案)「進撃の巨人」の漫画家のファンは世界中にいる。そのファンに対し、ふるさと納税をした人だけに特別グッズをあげることをしたらどうか。</p> <p>○副市長にお願い (要望)東有田地区の各自治会を巡回し、話をしていただき、地域の実情を把握してほしい。</p> <p>○下水道計画の中止について ①4つの自治会に都市計画で下水道計画が入っていたが、中止ということになった。最終決定になっているのかどうか。</p> <p>②松野町は、都市計画税は払っているが、下水道や水道の整備をする話は何もないがどうなっているのか。</p> <p>③下水道中止の説明に行った地区と、行っていない地区</p>	<p>②「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.16に記載】</p> <p>②「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.20に記載】</p> <p>③下水道中止は、計画区域の所だけしか説明してない。計画区域に入っていない所には、行ってない。下水道計画に入っていない区域については、合併処理浄化槽の補助金があるので、これまで推進してきました。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑥放送内容の程度の問題。避難勧告や指示が出ている場合、逆にやかましいからと流さないというのも行政としては、おかしいと思う。ボタン一つで、避難勧告、避難指示の放送を入れるという判断は、難しいと思うがアナログの世界ではないので、それはできると思うので考えてほしい。</p> <p>⑦東有田の場合、指定の避難所は難しいケースがある。地区の公民館になるがテレビはあるが、予算の関係で使えない状況。市の指定避難所に行く方が危険なことがあるため、地区公民館のテレビから情報が取れるように考えてほしい。登録している所は、事前に情報課が入れてくれる体制ができるのか？ いちいち番号を伝え連絡を取って、入れてもらうというのも、災害の時は、時間がないのでお願いしたい。</p> <p>⑧契約をすれば、契約料がかかる。公民館等公共の施設は、無料にするなどの対応をしてもらいたい。</p> <p>⑨池辺町地区は、KCVであるが対応はどうか。 公民館にKCVを引きたいと思っているが、必要なのは災害のための避難場所に避難者がいるときだけ。</p> <p>⑩指定避難所には、スコープ、ロープ、ハンマー、なた等、レスキューセットは設置してあるか。</p> <p>⑪中学校では、避難した場合、自分たちに何ができるか。日中災害があった場合、受付をするなどを考えてほしい。避難訓練時は、自分たちの役割、避難した時はどうするかなど考えた方がよい。</p>	<p>⑥何の情報を放送し、何の情報を放送しないかの判断は非常に難しい。勧告、指示は当然出すが、行方不明者等の情報はそれぞれ、判断は非常に難しい。放送するなら、全部放送する。放送しないなら、放送しないというのが、今の体制です。今のご意見は防災係に伝えます。</p> <p>⑦夜間は無理だが、来ているのであれば、5時までに水郷テレビに〇〇公民館を避難所にするからテレビを開通してくれと言え、すぐできます。避難が終わればすぐに切る。そういう場合申し込んでいただければ対応できます。 【別紙対応方針等一覧表NO.9に記載】</p> <p>⑧公民館にも自治会公民館、班の公民館、隣近所の公民館等いろいろあり、班の公民館はそういう取り扱いをしている。自動的にできるかは、振興センター長を通じて回答したい。</p> <p>⑨できるかできないか確認しないとわかりません。KCVは民間企業で、経営は別なので確認します。そのことも含めて、確認する。指定避難所にもTVを入れていこうと検討しています。指定避難所と自主避難所があり、あくまでも自主避難所は緊急時、一時的な避難で、落ち着いたら、指定避難所に移動する。指定避難所は、市が、食糧、毛布等また、TVを置こうとしています。避難が長期になっても大丈夫なようにしたい。指定避難所には、職員を配置しているが、人員、予算的なものがあり、自主避難所まで全部ケアするということは、難しいことを、理解していただきたい。</p> <p>⑩羽田交流館、有田小学校には、多分置いていない。振興センターには防災倉庫があり準備して</p> <p>⑪これから自主防災組織は、非常に大事。防災上必要なものを買う場合、市の助成等あるので、困り事は、是非相談してほしい。</p>	<p>④合併浄化槽で切り替えてくれと話が合った。都市計画税を払っている所も払っていない所も合併浄化槽に対する補助金は同額。これはおかしいという意見はかなり出た。何か優遇措置をして、中止はこれで決定するという結論が早く出るように。</p> <p>④「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表NO.16に記載】</p> <p>←【別紙対応方針等一覧表NO.9に記載】</p>	

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
	田島 (38)	7月20日(水) 19:30~21:00 田島二丁目 公民館	<p>①要支援者の把握について、田島2丁目はアパートが多く、把握が困難だ。行政がどれくらい当自治会へ情報を寄せられるかを聞きたい。</p> <p>②災害時の検討をしようと言ったが、いつまでにするのか具体的なものを出してほしい。</p> <p>③災害時、指定避難所で食料や毛布が配布されるということだが、東部中学校など避難所には、毛布などいつでも準備しているのか。職員が手分けして、配布するのか。</p> <p>④「自主避難所には何名いる」と連絡したら、食料など持ってきてくれるのか。</p> <p>⑤取りに行けば、食料等は配布してくれるのか。</p> <p>(要望)大雨の時、大原神社の鳥居近くの農業用の水門のところが一番低い。そこから下ってくる水と、小ヶ瀬水路の水位が上がってきて、それが川状になって大原神社前から市役所の方へ流れてくるのが原因だとわかった。日田市内の土地の高低差、水がどこに溜まるのかを調べてほしい。</p> <p>⑤大雨の対応として、大原グラウンドに雨水のストックヤードを作り、少しずつ水を流す。こういう方法はできないか。以前、雨水をグラウンド等に一時貯留して水路への流量を減らすという考えを市が発表した。検討から2年経過したが、どこまで進んでいるか、又、大原グラウンドに雨水のストックヤードを作れないかを探りたい。</p> <p>⑥小ヶ瀬水路は幅も狭く、古いので、ゲリラ豪雨には対応できない。大雨のその時の現状を把握してほしい。</p>	<p>①日田市には、災害時要援護者台帳に登録されている方が約2,000名で、非常時に外部に情報提供することに了解を得た人が入っています。民生委員と自治会長には情報提供しています。</p> <p>②市の内部会議でまとめたものを、防災計画に反映する。又、マニュアルに反映し、今後に生かしていくという形になります。</p> <p>③毛布等は市役所と中城町の防災倉庫に保管しているが、東部中学校など各々の市の指定避難所には置いていません。参集した職員には班がすでに割り振られており、毛布、食料を配布する班、被害状況の調査に出る班、避難所開設に当たる班等と手分けしています。</p> <p>④人員の関係もあり、基本通り市の指定避難所のみ対応とさせていただきます。</p> <p>⑤市の指定避難所に取りに来ていただいて、自主避難所に持って行く分は問題ありません。</p> <p>⑤大雨洪水警報が出たらすぐに小ヶ瀬水路の最上流部水門を閉め、小ヶ瀬水路の水を止めるという事を第一にやっています。ただ、水門を閉めてもここ付近で水が減るのには3、4時間後となる。また、田島地区から要望をいただいていた、水路の改修を何か所か行っている。雨水の貯留については、検討しているが、体育や部活の関係もあり、学校との協議が整っていません。</p> <p>⑥下流から随時整備していかないといけないが、用地の問題もあり貯留の件も合わせて、なかなか進んでいない。ゲリラ豪雨が降ると、今の水路では吐けきらない。今回のように、写真を撮っておいてもらおうと、その時の状況がよくわかり大変参考になる。ご協力をよろしくお願ひしたい。</p>	<p>○移住受け入れ地域認定制度について</p> <p>①空き家バンクや移住奨励金等、いい制度だけど、仕事が無いとUターンできない。休耕田の利用も考えてほしい。</p> <p>(意見)日田市は大変良い取組みをしている。長い取組みが必要になる。引き続き循環型農業に取り組んでほしい。</p> <p>○家屋の耐震診断・改修について</p> <p>②田島二丁目公民館も耐震化されていないがどうなるのか。</p> <p>○家庭ごみの焼却について</p> <p>③家庭ごみの焼却はできない</p>	<p>①特産品として栽培しているわさび。現在年間40t生産しているが、100tのオファーがあります。わさび農家を目指す人いたら、情報提供をお願いしたい。農業振興にも興味を持って、参加してほしい。</p> <p>②現在、自治公民館の耐震診断に市からの補助は無いが、平成29年4月から診断費用の補助を検討中です。</p> <p>③農業を営むなかで発生するワラなどは燃やせるが、それも隣近所に配慮してやってほしい。根拠については調べて報告します。 → 資料等報告済み</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑦今回の地震「熊本地震」と名称がなっているが、全国的に「熊本・大分地震」と付けてほしい。</p> <p>⑧救援物資の配給の迅速化を図るため、日田市を東西南北に4分割し、運送会社に委託し、物資を運んでもらうのはどうだろうか。また、仮設住宅の予定地は確保しているのか。</p> <p>⑨仮設住宅について、規格を全国統一にし、建設資材を何か所かにストックしておけば早く建設できるのではないか。</p>	<p>⑦気象庁が正式に「熊本地震」と付けているので、了承してほしい。ただ、激甚災害の指定も受け、観光・風評被害は大分県も熊本県同様扱ってもらえている。</p> <p>⑧仮設住宅の予定地は特に確保はしていません。</p> <p>⑨仮設住宅はハウスメーカーが基準・規格を持っています。日田市は仮設住宅の予定地は準備はしていないが、今考えられるのは廃校になった学校跡地等の利用です。物資の搬入については、社会福祉協議会を中心にボランティアセンターを開設することで、態勢づくりをしています。日田市はスーパーやパンのメーカーと災害協定を結んでいます。直接配送するというので、今後対応していきます。日田市タクシー協会とは協定を結んでおり、物資を運んでくれるようになっています。又、大きな災害になると、NPO法人コメリ災害対策センターと協定を結んでおり、九州管内に物資を運んでくれるようになっています。</p>		
	桂林 (11)	8月17日(水) 19:30~21:20 桂林公民館	<p>(意見)地震発生後すぐに桂林公民館を開け、部屋に入れるよう準備し、誘導、対応したのは公民館主事だった。桂林小学校の体育館より、公民館の方がエアコンもあり避難所に適していると思った。</p> <p>①身近な避難所の中に日田林工体育館が入っていない。</p> <p>②H24年の水害時、水が来る前に自治会の自主防災組織が3班に分かれ、ハンドマイクを使い避難誘導に回ったが、一気に水が来たため町内の全部に放送が行き渡ったかわからない。人的被害はなかったが、逃げ遅れた方を豆田消防団員が救助した。翌日からは、ボランティアの活動先の案内等の対応に追われ、町内の被害状況が全部把握できたのは3、4日経ってからだった。幸いこの地区は、被害が最も少なかった。集計したら135軒が被害を受けた。</p>	<p>①桂林公民館以外に避難してはいけないという訳ではありません。日田林工体育館は指定避難所であるので、近ければ避難してもかまいません。昭和学園高校も指定しています。</p> <p>②被害調査は、災害時は人命救助第一となるため人命を優先し調査は多少遅れても構いません。被害が確認できても、すぐに市が対応できるものではなく、職員600名が市民6万人余りのケアをする中で、10分、20分で行き着くことはできない状況となります。防災に関する地元勉強会等の場に専門家の講師派遣ができます。</p>	<p>○移住受け入れ地域認定制度について</p> <p>①39歳以下とあるが、ここまで限定しないといけないか。年寄りでも空き家対策のメリットはある。</p> <p>○その他の項目について</p> <p>②就学援助家庭は、日田市でどれくらいあるのか。また、どのような要件か。</p>	<p>①「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.14に記載】</p> <p>②「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.25に記載】</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他		
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応	
			<p>(意見) 城町では、何十年も自主避難訓練をやっており、今年は、電話や電気が使えない地震を想定し訓練したが、現実的には非常に難しかった。更なる訓練が必要だと思った。何回も防災会議を開き、自分の身は自分で守るという意識を持つこと。</p> <p>(意見) 自主避難運営委員会は、自治会として組織づくりが不可欠だと思った。青写真を桂林地区の自治会が持ち寄り、訓練を同じ日に実施し、全員桂林小学校に避難する取組を地域でやるべきだと思う。</p> <p>(意見) H24年の水害時は、林工体育館まで上れない状況で、階段から登らなければならなかった。丸山2丁目の町内には、「2階に避難しましょう、公民館も林工にも行くな」と指示した。今回の地震は、「林工の石垣が壊れそうで危ないから行くのを止めよう、自分たちで動くな」と指示した。</p> <p>(意見) 罹災証明が欲しいという方がいたが自治会に未加入だったため、市役所に連絡し「自治会長の印を押す箇所があるが」と言ったが「自治会長印はいりません」と言われた。</p> <p>(意見) 職員の災害研修マニュアルを教示してもらいたい。丸山2丁目は、災害時に桂林公民館には行かず林工体育館に行くしかないのに、高齢者、車椅子が通れるようなスロープを作ってくれないのか。</p>	<p>③ 避難袋を持ちましょうとあるが、何を想定しているのか。吹上町の例で健康を確認したとあるがどのように確認したのか。</p> <p>④ 防災体制について、震度5強で全職員参集とあるが、どのような体制になっているのか。</p> <p>⑤ マニュアルは、自治会で集まった時、どのように対応したら良いのか対応方法を知りたい。</p> <p>⑥ H24年の水害時、通行できた所がすぐに通行止めになった。そういう場合、危険場所とはわかっているが、特別に通してもらえるか。気になるのは一人暮らしの方が居た。</p>	<p>③ 避難袋については、一人1個。備蓄しておくのが、3日分。避難する時は、500mlのペットボトル2本くらい持って行けば、後は、市からの供給ができると思います。</p> <p>④ 職員の参集については、震度5強で無条件に参集するという意味であり、段階的に数名の職員は、震度1から出てきている。震度1、2でも必ず防災危機管理室の職員は待機している。震度3～4程度では、一般的に家屋は倒壊しないという判断基準になっている。しかし、小さい被害に対し必要であれば、職員はメールですぐ参集できる体制は整えています。</p> <p>⑤ 簡易なものがあるか、調べてみます。後日報告します。【別紙対応方針等一覧表NO.4に記載】</p> <p>⑥ H24年を経験されたのであれば、今後そういうことが想定されるので、事前に準備をされた方が良いでしょう。</p>	<p>③ 市長の裁量だが、日田市は、若干少ないのではないかと。国の基準の数値には至っていないような気がする。九州でも満額出している自治体はない。</p> <p>④ 月隈公園の史跡指定が2月にあり、4月の地震で石垣が壊れた。これは、文化財保護課で行うと聞いた。地元の説明会を開催していただけないか。</p> <p>(意見) 教育次長に会ったが、説明会を開催するつもりはなかったようだ。石垣の修繕委員会に地元は入らないということだったが、それはおかしい話。地元が管理しているのに、以前も管理用道路を地元が要望しているが、ダメだダメだと撥ね付け、史跡保護団体だけの話は聞く。地元はみんな怒っていることだけは伝えておく。今後どうするか考えてください。</p>	<p>③ 総合的に考えればそういう状態ではありません。補助教材の負担軽減を実施しているのは、県下では日田市だけであり、就学支援を受ける子と普通の子どもを含めても県内でもトップレベルの支援策はできています。</p> <p>④ 開催するのではないかと思います。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑦長寿福祉課が要援護者台帳、医療キット、社会福祉協議会のネットワークの3種類あるが縦割りのため同じことを3つ書かなければいけない。社会福祉協議会にも長寿福祉課の担当にも部長にも言ったが改善はない。縦割りで同じものを3つも作るなど言いたい。</p> <p>⑧避難所があるのに、畳が良いから上城内公民館を開けてくれと言われた場合、自治会長の判断で開けたが良かったか。</p> <p>⑨市は、毎年防災士の養成しているが、研修後、行政から連絡も何にもない。防災士をいかに活用していくのが課題だ。</p> <p>⑩昨年、市長と県知事宛に城内団地県営集会所の建設で請願書を提出した。集会所そのものが老朽化し避難所としても使えない。今後を見据えた避難所を備えた集会所の建設を県と市にお願いした。これがどういう計画になるのか聞きたい。</p> <p>⑪避難所として指定されている公民館の機能を活かしていただきたい。避難所にシャワー室がないというのが一番困るという話を聞いた。</p>	<p>⑦要援護者台帳と医療キットについては、目的が違い、要援護者台帳は、高齢者全てが対象で、災害時に一人では避難できない方が、この情報を自治会長、民生委員に提供しても良いですと本人の承諾のあった方の情報、医療キットは、日田市の65歳以上、全ての高齢者の方全員。例えば消防署から、救急車が到着し、署員から連絡がある「一人暮らしの方が倒れていた。誰に連絡すればよいか。」そういった場合、掛かりつけ医、離れて暮らす子供等の連絡先が分かるなど目的が違います。</p> <p>⑧自治公民館を自治会長の権限で開けたということであれば良いです。</p> <p>⑨防災士については、消防団のような全国組織があるわけではありません。防災士の養成の目的は、自治会の訓練等に参加していただき、知識を広めていただくものです。年に1回スキルアップのため、研修会を実施し、新しい情報を入れています。</p> <p>⑩基本的には県が、建設することになっています。今後、市が負担するのかしないのかは、県と話し合わなければなりません。</p> <p>⑪全部の公民館に付けるということにはなりません。特に自治公民館については、自分たちで設置するのが原則となっています。1週間も10日も避難することを想定されているようですが、最大限に全てをカバーする施設整備は基本的に考えていません。地区公民館に関しては、炊事場所等は整備していくが、過剰な設備投資は考えていません。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑫上手町の「夕田橋」の架け替えができ、今後、水害の危険性は軽減するのか。</p> <p>(意見)H24の水害のとき、遠方から来たボランティアが2時間程で帰った。受入体制の改善を検討していただきたい。</p> <p>(市からの報告)災害の検証では、地区公民館にテレビはあり情報が取れるが、体育館等ではテレビがついていないので、情報が取れないという話だったので、ケーブルの端末を付けるなどして情報だけは取れるようにしていきたいと考えています。</p>	<p>⑫夕田橋は、河川の土砂浚渫をして、河川断面が大きくなっていると国交省から聞いています。いきなり、H24年のような出水はしないと思います。最終的には、下流からの改修になるので、夜明ダムを開けるタイミングが大きな判断材料。先々週、結構雨が降った時、筑後川ダム統監から、ダム連携の中で調整と訓練も含め実施しました。河川水位を80cm位下げる調整が効くようなダム操作ができたということで、持てる機能の中では、前回のようなことにはならないだろうと思いますが、雨が150mmも降り始めると自然災害の規模はわからないので、絶対に安全ということにはなりません。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
C班 班リーダー 山口土木建築 部長	中川 馬原 (50)	7月14日(木) 19:00~20:55 天瀬公民館	<p>①天瀬は防災グッズをもらっていたが、今回の地震で旧桜竹小学校の体育館に避難した際防災グッズの中のラジオがまったく聞こえなかった。市の方に尋ねていたが返答がない。対応策を知らせてほしい。</p> <p>②杉河内地区は、避難場所が旧桜竹小学校になっているが遠い。今回の地震では国道210号線が通行止めになり、さらに遠回りをしなければならない。玖珠町の小、中学校の方が近いのでそちらに避難することはできないか。</p> <p>③杉河内は今回の地震で水がでなかったため市に水の要請をしたが、できなかった。市は水の確保を検討してほしい。</p> <p>④水の提供が玖珠町は1人200もらえて、日田市の方は100だったのはなぜか。</p> <p>⑤避難勧告を受け東溪中に避難をしたが、毛布は持参しなければならなかった。高齢者は大変だろうし、避難具については備えておいてほしい。</p> <p>⑥災害時の道路状況について市からの情報が遅い。連絡体制はどうなっているのか。</p> <p>⑦吹上町の事例は旧日田市を中心に考えられた防災組織であり、天瀬町では通用しない。</p> <p>⑧桜竹地区は消防(火事)の無線はよく聞こえるが、防災無線は聞こえない。赤岩の災害無線は、聞こえにくいいため逆に住民に不安感を与えている。</p> <p>⑨現在、市道古園線が風倒木等で人が通れない状態なので災害があった場合のことを考えると車だけでも通れるようにしてほしい。</p>	<p>①「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表NO.5に記載】</p> <p>②「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表NO.6に記載】</p> <p>③杉河内の方が振興局に来て玖珠町から水がもらえるようになったと報告を受けたが、今後住民や玖珠町と連絡を密にとっていきたい。</p> <p>④限られた量で多くの住民に供給しなければならなかったが、市民の生活を守るのは市役所の責務であり、水は欠かせないものです。どんな時にでも提供できるようにしたい。</p> <p>⑤緊急避難の場合の持参は難しいが、時間がある時は持参できる方についてはできる限り持参してほしい。そうすることで、持参できない方への対応もできます。</p> <p>⑥国や県の道路管理者から情報が来るが、今回の地震では情報が錯綜していたため住民への連絡が遅くなりました。今後、道路管理者等と連携をとって早く伝えられるようにしたい。</p> <p>⑦事例は組織をつくり活発に活動していることから例として紹介しています。地域で環境が異なるため、地域に合った自主防災組織を作してほしい。</p> <p>⑧消防と防災は発信元が違うが、聞こえない地域については確認をします。防災無線ダイヤルを利用してほしい。</p> <p>⑨職員が調査をしたが、風倒木や落石があるため対応を考えます。</p>	<p>○市役所の対応について</p> <p>①日常的に要望や意見などがあるとき本庁に行かないと話ができない。すぐに対応してほしい。</p> <p>○PM2.5について</p> <p>②自分なりの対応ができるので、人体への影響等を知らせてほしい。</p> <p>○五条東溪幼稚園の空き屋について</p> <p>③空き地を駐車場として活用できるように検討してほしい。</p>	<p>①皆さんの声にすぐに答えられるようにしたい。</p> <p>②PM2.5の報道が盛んに行われていた当時、広報でも影響を掲載していたが、必要に応じて今後も知らせていく必要があります。</p> <p>③持ち帰って検討します。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑩今回の地震で水道水の濁りが生じたので、今後水の確保を検討してほしい。</p> <p>⑪今回、2回ほど自主避難をしたがスムーズに避難ができた。しかし、避難所では災害情報等がまったく届かなかったので情報の周知をお願いしたい。</p> <p>⑫旅館は大量の水が必要になるので、飲料水については行政が責任もって対応してほしい。</p> <p>(意見)防災無線ダイヤルについては、知らない人が多いと思うので周知してほしい。</p> <p>⑬災害時の振興局の役割は？</p> <p>⑭今まで日奈久断層のことを知らなかった。断層については災害の心構えの第1歩として調査をして住民に知らせてほしい。</p> <p>⑮地震に対する国からの見舞金、補償はあるのか。また、本市の場合について(建物の全壊、半壊等の基準)を知りたい。</p> <p>⑯天瀬には診療所はあるが、夜は開いてない。日田市内に集中すると思うが、道路が通れなくなる状況も考えられる中、どこに連絡をすればよいか。緊急事態の時、すぐに対応できる看護師等の医療グループへの連絡ができるようにできないか。</p>	<p>⑩濁水について、対応策を検討します。</p> <p>⑪指定避難所については、テレビを設置するようにしています。</p> <p>⑫旅館等の大量の水を必要とする場合についての対応策は今のところまだ言えない。</p> <p>⑬本部運営の中の情報伝達部、広報、支部対策となっています。振興局管内で(道路の寸断等)即断しなければならない緊急な場合には局長判断で行います。今回も、落石除去等は局長判断で対応しています。緊急な場合、振興局は判断、対応は行うが本部に通報して援護等の要請をしてもらうことも必要で、本部との連携は大事です。振興局は、現地の目であり耳であり足である重要な役割があります。今後は振興局職員だけでなく、振興局管内に住んでいる職員も対策にあたるように考えています。</p> <p>⑭市独自で断層についての調査は難しいが、国土地理院のホームページで詳細がわかるので見て下さい。</p> <p>⑮平成24年の災害(集中豪雨)では、国の法律に基づいて税務課の職員が家屋調査に入り、調査を行い、半壊以上は義援金が出ました。日田市にも義援金が出たので被害に応じて配分しました。熊本では直接見て判定しました。被害状況の写真をとっておくのは有効な手段です。</p> <p>⑯今回、落石の時は救急車で済生会に搬送した。119番への連絡が早いと思うが、市役所振興局、振興センターへの連絡でも良いです。孤立した場合は、ヘリコプターの要請もできます。医療グループを作るという考えがなかったので、持ち帰って検討します。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>①桜竹地区の避難所は今までBGだと思っていたが、今回は未耐震のため避難ができなかったので事前に周知してほしい。</p> <p>②天瀬は、3つの集落が集まっているので末端まで行き届かないと思う。玖珠町を参考にすると、緊急を要する場合は各自治会のトップが振興局に集結して局長と話し合い、対策をするといった組織を作ったかどうか。</p>	<p>①防災無線で避難場所を知らせているが、BGはつり天井があるので地震の場合には開設できない。数年前にハザードマップを作成したが耐震等については記入がないので見直しをして周知をしたい。</p> <p>②法律的な制約もあるので持ち帰って検討するが、災害時は自治会長は重要な役割を担っているのでよろしくをお願いします。</p>		
	五馬 (24)	8月3日(水) 19:00~20:20 天瀬公民館 五馬分館	<p>①大山地区の国道は根本的に弱いと思う。広域農道もあるが国道の付け替えはできないのか。国への働きかけをしてほしい。</p> <p>②現在の迂回路は、7時から7時で800台、7時前と7時以降で1,000台になる状況であり、地元の人には気をつけなさいといけな。国道212号は災害に弱いので、迂回路を増やすべきではないか。土木事務所と市との連絡がとれていなかったのではないか。地元への相談もなく、土木事務所からの説明は1ヶ月後であったため、連絡がスムーズにいくようにしてもらいたい。</p> <p>③防災無線のケーブルが切断して2日間使えなかった。屋外は天候が悪いと聞こえないので、宅内のアンテナの着いた受信機の情報がとれないか。防災無線の見直しをしてはどうか。</p> <p>④地区がダム直下にあるため不安である。地震の時は、8割の貯水があったが、冬場は100%である。ダム管理センターに水位を下げてほしいと頼んだが、九電の関係があるからと対応してもらえなかった。大きな地震に備え市からも要望してもらいたい。</p> <p>⑤五馬(出口)地区は水が濁って飲めなかった。5日後に給水車が来て500リットルのタンクを借りた。管理は自治会ですので、今後は、事前に避難所に500リットルのタンクを2個ずつ置いてほしい。</p>	<p>①国道212号の改修や広域農道等への付け替えについては、今後どういう形が望ましいか議論が必要であり、国にも要望しています。</p> <p>②大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。1,000台とは予想もしていませんでしたが、地形的に難しいこともあり、迂回路となるよい場所がないか国・県にも要望しています。</p> <p>③防災無線だけでなく多様な情報伝達方法を用意しました。ひとつの方法として、防災メールの登録や防災無線確認ダイヤルを周知し活用してほしい。</p> <p>④こういう意見があると言うことをダム管理者に伝え、情報共有しながら考えていきたい。</p> <p>⑤大変ご迷惑をおかけし申し訳なかった。500リットルのタンク2個を常時置くことは、持ち帰り検討します。</p>	<p>○ふるさと納税制度について</p> <p>①個人が友人や親戚にお願いをすればよいのか。</p> <p>○移住受け入れ地域認定制度について</p> <p>②空き家の情報はわかるのか。</p> <p>③地域活性化につながり良い制度だと思うが、他人からなかなか言い難い。市から説明してもらいたい。</p> <p>○市道の管理について</p> <p>④地区で大型バスを利用した時に、道路わきの樹木の枝がバスの屋根に接触するため、行政から所有者に枝をきるよう頼んでほしい。</p>	<p>①お願いをしていただきたい。</p> <p>②調査をしているので、状況把握はできています。</p> <p>③市から一人ひとりに言うことはできないが、地区で空き家バンクへの登録をすすめていただきたい。</p> <p>④「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表NO.24に記載】</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			⑥市が設置した給水場で、簡易水道加入者以外は、給水できないと言われた。市の水道でないところも(簡易水道でなくても)給水してもらいたい。	⑥いつま小学校・五馬中学校で供給をおこなったが、簡易水道でなくても給水をし、給水した人の集計もとっています。		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
D班 班リーダー 鈴木教育 次長	西有田 (13)	7月19日(火) 19:30~21:00 西有田公民館	<p>①原発事故があった場合には、放射能の被害が想定されるが、放射線の線量計の備えはあるのか。</p> <p>②災害時の市からの避難の指示については、中でも特に大雨の時の夜間の避難は大変困難である。そういった場合市はどういった判断で指示をだすのか。住民防災組織の中で動けば良いのか。</p> <p>③自主防災組織の訓練を行ってほしい。避難準備、避難勧告、避難指示とあるが、どの段階で避難したらよいかわからない。</p> <p>④災害にも台風、洪水、地震とあるが災害により、避難場所が違うのではないか。西有田の現在の避難場所は、浸水地域に入っている場所もあり危険である。また、指定されている支援学校は、県立ということで連絡がとれていないのか管理人が開けないことが過去何回もあった。</p> <p>⑤災害によって避難場所が違うと市民は混乱する。混乱にしないように地域の方と安全な場所の確認をし、市独自ではなく、地域の人とともに避難場所を設定すべきではないか。また、施設は耐震化すべきである。</p> <p>(意見) 今回の地震で公民館を開けた。開けたことにより公民館にひびの入っていることがわかった。市にいうと、迅速な対応で、建築住宅課が見てアドバイスを受けた。感謝している。</p> <p>⑥防災訓練を、どうやればいいのか分らない。マニュアルを作成してほしい。それぞれの地域で、市のアドバイスを受けて、ハザードマップを作ったらどうか？班長に危険箇所を指摘してもらい。</p>	<p>①市では装備していません。</p> <p>②大雨、洪水の時の深夜の避難は大変危険なので、生命の安全第一を考えて行動していただきたい。大雨の場合、ある程度予測できるので、避難準備情報を早めに出している。防災メールの登録をできるかぎり行い情報を把握していただきたい。</p> <p>③それぞれの地区で防災組織を活性化し、訓練を実行していただきたい。避難準備情報を出す段階で、避難所を開けるのでその段階で避難してほしい。</p> <p>④市が避難情報を出したときには、市指定の避難場所をお知らせしている。西有田の浸水地域に入っている避難場所については確認して回答します。(西有田地区で浸水想定区域内にある市指定避難所は、北部中学校のみ。浸水想定区域にある市の避難所は、洪水が発生した場合、浸水する可能性があるため、2F以上への避難が必要。)支援学校に関しては現状どうなっているか確認します。 【別紙対応方針等一覧表NO.7に記載】</p> <p>⑤意見を参考にする。今後、耐震化も含め検討します。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>(意見)坂井町は、平成24年の大水害の時、有田小、北部中に避難できず、どこに避難していいのか迷った。その時、三和酒類が開けてくれたので、三和酒類に避難した。民間の企業にも避難場所を協力してもらってもいいのではないか。</p> <p>今度の地震を教訓に、坂井町全家屋の耐震診断を行い、建築年により色分けし、要援護者の家を含めた地図づくりを今年度取り組む予定。</p> <p>⑦新橋ができた場合、北部中学校は避難場所に指定されるのか。</p> <p>⑧防災士との横の連絡について、自治会長と連絡を密にしたらいいと思う。</p> <p>(意見)上手町は日田市のマニュアルをもらって防災訓練の流れも作っている。また、防災委員が、班長も交え話し合える環境にしている。</p> <p>(意見)防災士を増やしてというが、実際非常事態の時に動ける防災士を増やしてほしい。</p> <p>⑨市に自主避難所への避難情報を連絡した。市は避難場所を設置しているが、避難している人の名前など把握できているか。</p> <p>(意見)避難をする場合は班長に避難場所を届けて避難するように伝えていたが、できていないこともあり、自治会における安否の確認ができなかった。</p>	<p>⑦北部中学校については、検討します。</p> <p>⑧防災計画書のなかで、防災士の役割をきちんと整理しています。意識の高い町内、低い町内がありますので、地区での活用を考えていきたい。</p> <p>⑨市は、自主避難場所は職員では対応できないため、把握もできていません。落ち着いたら指定避難場所に避難してほしい。今後の課題ではあるが、避難所の運営も住民の力で行うような流れを作りたい。避難したら、受付簿にはっきり書くように指導します。</p>		
	大山鎌手 (30)	7月28日(木) 19:30~21:00 大山振興局	<p>①「災害対応にあたる職員配置」について、今回の地震において、住民と市と土木事務所を含めて連携が非常に悪かったと思う。今後、連携が取れるような体制を作ってほしい。特に、地震の際には、午前2時ごろまで迂回路の対応をした。このような場合、職員の対応も必要だが、迂回路の対応もしてもらいたい。地元としては非常に不満が溜まっている。また、自主避難所にやっところれた人を、遠くにある指定避難所まで誰が連れて行くのか。住民が連れて行くのか尋ねたい。</p>	<p>①自主避難所は、地域の皆さんが一番知っており、行きやすいところだと思っています。市では、避難が長期的になることも考慮し、指定避難所を指定しており、初期段階の避難は、自主避難所に向かっていただき、周辺の状況を見ながら、移動できる中で移動していただきたい。また、要支援者については、連絡をいただければ、行政の方で対応します。</p>	○ふるさと納税制度について	<p>①自治会還流金について、公金をいただいて、それを自治会に補助金として交付している性格上、現行制度では、単年度で処理するという性格のもので、目的を持った基金として積み立てることが、関係法令や条例等に照らし合わせて可能かどうか、来年度の検討課題とします。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>②避難所が小さいから、相当の人数が出たときに入らない。大山では、そういう課題を抱えているところが非常に多いと思う。自主避難所についても指定避難所同様の扱いをやってほしい。</p> <p>③災害時に振興局の職員数が少ない。そこで、本庁からの応援ということはできないか。</p> <p>④そのことは理解できるが、それ以外の職員の応援はできないか。</p> <p>⑤避難している人に弁当を用意していただいたが、朝になって避難している人が自宅に帰っていく状況の中で、避難所での対応が後手後手になっているのではないか。</p> <p>(意見)避難した時に職員が、飲料水、エアマットなどを持ってきたが、置いていっただけで、エアマットなどの使い方の説明の説明がなく、お年寄りにはふくらまし方も要領がわかってなかった。説明があれば分かったと思う。</p> <p>⑥避難所には情報源として、市の方で、テレビを設置していただけないか。</p>	<p>②自主避難所については、情報としていただくが、市がどうしなさいと言うことはありません。行政が責任もって対応できるのは、指定避難所までだと思います。今回開設した避難所の対応でも多くの人間が必要で、そうなれば、ほかの対応ができなくなることもあるので、指定避難所へは自力で行っていただきたい。本当に行けない要支援者については、情報をいただければ、何らかの形で対応していく体制で臨みたい。</p> <p>③本庁からの応援はしています。災害の状況によるが、本庁勤務の職員であっても大山のほうで対応することにしています。</p> <p>④災害の状況次第だと思っています。特に災害発生時、一番重要なのは、今回も課題となっている「避難」まず身の安全をどうやって確保するかを一番に進めていこうと思っています。また、本庁には専門的な部署があるので、災害が発生したから、いきなり多くの人間を送り込むのではなく、むしろ、その専門的な課題に向かう職員が各地区に出向くこととなります。</p> <p>⑤今回、弁当が何百人・何千人分の単位となり、なかなかすぐに送れる状況にはないので、理解いただきたい。</p> <p>⑥他の所でも避難所にテレビがないとの話もあったので、どこにどういった形で設置をしていくのかを含めて検討しています。</p>	<p>○その他事項</p> <p>②おおやま清流自治会の中の小五馬地区に、九電の女子畑隧道がとおっており、現在、農業用水にポンプアップにて利用しているが、火災等緊急時の際には、防火用水として利用できるような協議の場を設置してもらえないか。</p> <p>③今回の地震災害で、市道よりの宅地の塀(石積み)が崩壊した。農地災害などのように補助的なものはないか。また、市道に、樹木の枝が垂れ下がっているのに対応願いたい。</p> <p>④国道212号線の木の花ガルテン付近の国道の除草についてお願いしたい。</p>	<p>②九電が持っている水利権の問題となるので調査します。</p> <p>③市道上に崩壊したものについては、市で片づけるが、宅地内石垣に復旧については、市の方で対応することはできません。また、市道上の枝について、状況把握は行っています。</p> <p>④土木事務所に対し、振興局より早急に対応するように要望します。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑦国道212号が被災し、大型バスが通れないということで観光客が減ったのではないと思うが、危険性の高い道路に対して迂回路などの対策を、長年何もしていないことが今回のこういう事業に影響するし、住民に迷惑をかけるし、大変な被害をこうむっている。また、今回の落石箇所その横が崩壊の可能性があるので、早急に安全対策工事を施工してほしい。</p> <p>(意見)南部地区は後継者が戻ってくるような施策とかを地域として一所懸命やってきて若者家族が増えてきている。国の地方創生などの問題が謳われているなか、その辺りをよろしく願いたい。</p>	<p>⑦国道212号(汗入場)の道については復旧に全力を挙げていただいています。将来に大きな不安が残るようであれば、代替の道を作り直すようなことを考えないといけません。先月、国交省の技監に直接現場を見てもらい、そして、本庁の方で要望活動をしてきたが、次官も同じ認識であったので何とか計画路線に載せていきたいと思っています。しかし、地元住民からの強い要望がないとなかなか難しい状況です。当然、国の方には我々が直接いくが、この道路は管理を県が代行しているので、まずは土木事務所、知事の方にも地元から、そういった要望を挙げていただくと、我々もより動きやすい状況になります。</p>		
			<p>⑧烏宿山という山があり、地震で岩山が崩落して集落の方に崩れてきているが、そういうものに対する計画・対策というものはあるのか。</p>	<p>⑧今、具体的な被災場所の調査をしているが、目に見える点在した場所はわかるが、地割れとかがどこにあるのかわからない状況にあります。それで、林野庁が、前津江から九重までの間にレーザーを飛ばして、被災箇所の探査をすることになっています。これを見ながら今後どうするのかを国と模索していきたい。</p>		
			<p>⑨結局、危険箇所はそれを待ってからでないとわからない状態ということか。</p>	<p>⑨危険箇所は形としてあるので、その中で杖立の入口のところは、地山が滑っているようなので、今回の探査で調べるようにしてもらっています。被災の状況により全然対応が違うようで、そういうところを急いで洗い出すことになっています。</p>		
			<p>⑩今回の地震で木の花ガルテン付近の国道には多くの落石があった。土木事務所に写真を撮ってもらったが国道や市道の上部にはいつ崩れてもいいような岩がまだたくさんある。いまあの辺はそういう状態である。</p>	<p>⑩そういった情報はすべて集めておいた方がいいので、情報提供いただきたい。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>①地震時に火災が発生した場合の水利はどうなっていますか。</p> <p>②先般、大山の高取地区で建物火災があり、40トンの防火用水では水が足りず、補充する水も少ない。日田市全体で、年間2基の防火水槽予算を3基ほど確保願いたい。もう一つは、吾々路地区ですが、河川整備の関係で深みがなくなり水利として利用できない。火災の際の河川利用について、九電や県と交渉していただきたい。</p> <p>③昨年、消火栓の筒先が盗難にあい報告した。しかし、返事が来ないがどうなっているか。</p> <p>④毎年、自主防災組織図を出しているが私の住んでいる山際地区では、今は18戸だが独居老人等もあり、また、昼間はほとんど若い者がいない状況にある。自主防災組織は、集落単位で組織するのではなく、近隣の集落を交えるなど、地域の実状に応じて自主防災組織を作るかという考え方に変えた方がよりよく活動ができるのではないかと。</p>	<p>①今回の地震の発生が深夜だったが、火事は出ていません。これが、昼間や夕方だったら、どういう火災があったかということですので、火災消火訓練とかをやっていかないとだめだろうと思っています。単に雨と地震ということではなく、消防施設の点検や個人での火災対応など、消防団や消防署をいれて話をしなければなりません。</p> <p>②高取地区については、防火用水の水利として九電水路から分岐している農業用水を利用することを考えていますが、九電の回答では水利権の関係から国土交通省の管轄になるとのことから、今後国交省と協議したい。防火水槽を増やすより、防火水槽に給水する水源を確保する方向で検討したい。</p> <p>③「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表NO.8に記載】</p> <p>④この件については、一旦持ち帰って、防災の方と組織体制などを検討します。また、ふれあい宅配講座というものがあり、防災等の対応策の話ができる講座を利用しながら、一緒に考えていければと考えています。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
E班 班リーダー 永瀬商工観光 部長	隈庄手 (14)	7月20日(水) 19:30～21:25 日隈公民館	<p>①災害対策本部を立ち上げた時(第6段階)は職員全員で対応に当たっていると言うが、日ノ隈校区の対応となると内容が見えない。校区に自治会の代表はいるが、市の校区担当者を決め、その人と連絡をとったり、来てもらい打ち合わせや、意見を言うことはできないか。</p> <p>②市の一職員が地区担当になっても、例えばこちらに向かっている間に災害に遭うかもしれないし、一人の担当では何もできないと思う。それより自分達で一度集まって考え、指定する避難場所へ行くなら行くで良いと思う。市は本部での統一的な管理が望ましい。</p> <p>③自治会の人達は、公民館に避難したが、避難場所は小学校だと言うことでまた移動した。こんなことで災害が起こった時、誰に聞けばいいのかわからなくなる。</p> <p>④携帯等の通常の連絡手段が災害時使用できなくなった時は、どのように連絡を取るのか教えてほしい。</p>	<p>①第6段階では、全職員が決められた所に出動して、災害対策のそれぞれの分担の仕事に従事するようになっています。職員の誰かが、地区の担当となり、いろいろな意見を各地区から本部に集めていくと本部の方が混乱します。自治会長さんが地区の意見や質問などを整理・集約し、本部がそれらを踏まえ、全体的かつ統一的な管理、把握、対応を行っていきたいと考えています。</p> <p>②実際に大きな災害が起これば、日田市内全域を600人余りの職員ではカバーできないので、地域の方々がお互いをサポートしつつ、市役所と地域の方が連携して被害を最小限に抑えられる仕組みを作っていくということで理解をいただきたい。</p> <p>③日隈地区の指定避難所は、日隈小学校です。地区の人にとっては、小学校の体育館より、畳の部屋などがある公民館の方が良いと言う人が多かったようですが、市としては食事等の物資の提供もあり、職員を配置している指定避難所への移動をお願いしました。今回の地震の対応を踏まえて、改めて避難所の再点検等を行っています。 災害対策本部には、電話対策班があり、そこへ問い合わせると、どこで土砂崩れが起きているか、どこに避難所を開設しているかなど情報提供できます。指定避難所には交代で職員を置くようにしているので、市に要望・意見等あれば、その職員を通じて言ってもらっても可能です。しかし、避難が長期化すると、職員の24時間常駐も厳しいところがあるのでケースケースで対応も変わると考えます。</p> <p>④现阶段では衛星電話・無線等があるがどういった状況で使用できるのか、また、数が十分でないことや、住民同士をつなぐ代替手段の確保といったことが課題として挙げられています。今後考えられる範囲での対応は考えていきたい。同時に各自治会の自主防災をどこまでレベルアップできるかが大事なので、訓練等しっかりやっていただきたい。</p>	<p>○家屋の耐震診断・改修について</p> <p>①地区の公民館は、対象なのか。</p>	<p>①公民館の場合、昭和56年以前に建てられたものについては、自治会活動等推進事業補助制度のメニューの中に耐震診断に対する補助があり、また、改修に対する補助もあります。まちづくり推進課が担当です。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑤地震が起きた時、限裏の可動堰は動かないという放送がない限り、正常に動くと思って良いのか。</p> <p>⑥橋など、どの程度の地震だったら大丈夫なのか等周知されていないがそれについてはどうなのか。</p> <p>⑦以前の被害で夜明ダムの水門が開かなかったことがあり、これから先も地震でダムがどんなことになるかわからないが、国土交通省などと夜中でも常に連絡が取れる体制にあるのか、また、緊急時、地域にはどんな連絡が来るのか聞きたい。</p> <p>(意見)消防団と自治会との連携が、中々うまくいかない。市の職員が間に入ってもらえないだろうか。</p> <p>(意見)学校があつている日の避難などもっと具体的な災害のシュミレーションを行ってほしい。</p> <p>(意見)賞味期限が切れそうになった備蓄品は、小学校の空教室に置き、体験として生徒に食べさせるのも一つの案ではないか。</p> <p>(意見)要支援者に対して日ごろからの見守りネットと防災の支援ネットを一体化していきたいと考えている。</p> <p>⑧災害が起きた時死亡者を出さないためには、自分で自分の身を守る方法を考えなければならない。自分で身を守るための指導をしてほしい。災害に遭い避難場所に行った場合、どのくらいの間、食事の面倒をみってくれるのか。自治会は、町内会費で運営をしているが、もし避難する人が出てきて長引くことがあったりすると会費がもらえなかったり、住むところがないので町を離れていたりすると、自治会の運営自体困難になる恐れを心配する。自治会があつてこそ防災ができるので、その点に関して市はどう考えているのか。</p> <p>(要望)公民館に視聴覚室を作ってほしいとお願いしているが、早くしてほしい。</p>	<p>⑤災害時、河川事務所等と連絡は常時とれるようにしています。もし動かない等あれば防災無線等で連絡をします。</p> <p>⑥橋は3年程前から調査しています。緊急性の高いものから順に調査していますが、まだ全部は終わっていません。現段階では、すぐに直さなくてはならない橋はありません。</p> <p>⑦国土交通省、県土木とは連絡がすぐに取りれるようにしています。住民への連絡の手段としては、防災行政無線や告知端末、電話で防災無線を開けるようなシステムを整備していますが、これで十分だとは思っていません。防災メールを受信できるように、手続きを皆さんにお願いしたい。市としては改善しながら伝達方法の多様化等を図っていきたいと考えています。</p> <p>⑧今回の地震対応の反省をもって一番お願いしていかなければならないと考えたのが、自治会をベースにした自主防災組織、あるいは消防団で安全を守るような形を作っていただきたいということです。自治会が一番大事な基盤だと思っています。意見を持ち帰り検討します。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑨スピーカーに耳を澄ませても聞こえない。スピーカーに対しても予算を組んでもらいたい。</p> <p>⑩各自治会に防災士がいるが、機能していないように思える。防災士の資格を取得しただけの状況で、どう地域住民の指導等行っていか考えていく必要があるのではないか。</p> <p>(意見)防災士には、自治会から言われたから受講し防災士になったという人もいると思うが、防災士は、人を助けるボランティア精神や、リーダーシップが取れる人であることが望ましいと思う。</p>	<p>⑨スピーカーの件は、たくさん数が必要なので、予算的に難しい。電話サービスで、防災無線と同じものが聞けます。</p> <p>⑩自治会と防災士の連携について、良い方法を考えていきたい。また、防災士も増やしていきたいと思っています。費用については市が援助していきます。フォローアップ研修などありますが、防災士が知識を習得しても活かす場がないことから、得た知識等を基に、町内の人を指導するなどの流れを作っていかなければならないと思っています。</p>		
	前津江 (20)	7月29日(金) 19:30～21:10 前津江公民館	<p>①道路の被害状況など実際に行ってみないとわからない状況だった。自分も消防団員だが、情報があまり届かなかった。自主避難した人たちの中には、毛布や食べ物など何も用意していなかった人もいた。避難の方法など、周知ができていたら良かったと思う。ただ、フェイスブックに避難状況等の生の情報を挙げてくれていたので、その点はわかりやすく良かった。</p> <p>②消防団(前津江方面団)には携帯メールで情報が入り、それから各班長へ連絡するようにしている。当日の早朝には落石等の点検を団員に指示した。地域でも防災意識が高まっているし、今回の災害では、振興局職員が良く対応してくれて助かったが、振興局職員の数が減ると対応が難しくなると思う。</p> <p>③毎年防災訓練を実施しているが、集合して簡単な話だけで終わっている。自治会と消防団が連携してどう対処していくか、災害のない時から防災体制を立ち上げ、実働的な訓練をしていきたい。</p>	<p>①災害対策本部では、それぞれの対策班が対応し、そこで内容を確認し、道路被害情報や避難情報等を発信していきます。指定避難所には職員を配置しますが、自主避難所まで職員の配置はできません。現場の状況次第では、まずは一番避難しやすい所(自主避難所等)に集まって、それから指定避難所へ移動していただきたい。</p> <p>②市では、災害時に地域の細かい事情を把握することは難しく、地域で自主防災組織を作って災害に対応していかないと地域を守っていくのは無理だと考えます。今回は夜中の地震発生であったので火災は発生していないが、もし昼間であれば、大火災が発生したかもしれません。消防団とも協議し、各地域で消火訓練の実施をしていただきたい。</p> <p>③吹上町の防災組織の検証にありますが、要支援者の面談による意思疎通に関する件では、個人情報の関係で本人と揉めることもあるので、平常時から面談で意思疎通を十分図っていただきたい。</p>	<p>○ふるさと納税制度について</p> <p>①交付金の自治会での繰越については、認められるのか。</p>	<p>①小額の交付金では、事業実施ができない等の意見をいただいております。市の方で保管することを検討しています。その年度に精算ができる分だけ自治会に交付し、残額については市の方で保管することも考えられますが、自治会での交付金の繰越はできません。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>④大野地区には指定避難所が数多くある。振興局の職員では手が足りないし、人数の把握がしにくい。どこか一本に絞って避難した方がいいのではないかな。今回は最終的に前津江小学校にまとまってもらった。</p> <p>⑤自主防災組織の取り組みは、地域の住民が中心にやっていたらいいが、対応していくには時間がかかる。指定避難所までの道路が寸断されると避難できない。自主避難所にも情報設備の整備が必要であり、柔軟な対応をお願いしたい。</p> <p>⑥前津江は地すべり地区が多いが、大丈夫なのか。また、要支援者の避難支援等の対応が重要だと感じた。</p> <p>⑦避難所での情報収集として、水郷TVのテレビ視聴を申請したいが、TV視聴料の補助はないのか。</p>	<p>④最終的には指定避難所に集まっていただきたい。備蓄品や情報収集のためのテレビ等を各指定避難所に配置することについて検討しており、その管理は地域の人をお願いしたいと考えています。</p> <p>⑤公民館等の自治会施設の整備については、補助制度を活用していただきたい。後で説明しますが、個人の家についても耐震診断や改修工事の補助制度があります。</p> <p>⑥要支援者は市全体で7千人くらいいます。そのうち2千人くらいしか登録されていません。災害時にどこに行けばいいのか、要支援者の登録についてなど避難のマニュアルを作成しているので周知していきたい。地すべり地区の調査については、現在県が行っており、9月までには診断結果が出る予定です。この地区には実際、安全な場所が中々ない状況で、住民の方にはその点を理解しておいていただきたい。</p> <p>⑦自治会用のパソコンやテレビの設置についての補助はありますが、視聴料の補助はありません。携帯やスマホの防災メールやフェイスブックに登録して、積極的に利用していただきたい。</p>	<p>○林道の管理について</p> <p>②今回の地震で大山町の中津尾でも県道(西大山大野日田線)が被災し全面通行止めになった。仙道屋敷付近でも工事中で通行止めとなっていたため、曾家の人は赤石を通って前津江振興局方面へ抜ける、相当な遠回りをする必要があった。大山町の竹の迫市有林につながっている作業道の整備を県に要望している。(林業振興課に確認したところ、現在県が調査中とのこと。)有事の際はこの道を迂回路として利用できないかと考えている。この道の整備ができれば、その後の管理を市でもしてもらえないか。</p>	<p>②「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.18に記載】</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
	五和 (15)	8月5日(金) 19:30~21:05 五和公民館	<p>①五和地区の防災無線は、里山公園に設置されているが、スピーカーの下まで行かないと放送できないので、家の中からも放送できるようにしてもらいたい。</p> <p>②今回の熊本地震の際、内河町自治会の住民は地区公民館に避難し、市役所に出向き、毛布の貸し出しを要請したが、当公民館は自主避難所であるため毛布は貸せないと言われた。指定避難所の石井小学校や五和公民館は遠距離にあるので避難できない。</p> <p>③民生委員であるが、要援護者や車椅子使用など障害を持った人は、指定避難所では他の避難者に迷惑がかかるので避難できない。市に問い合わせたところ、福祉避難所があることを伝えられ、最寄りの福祉避難所に行ったが、費用を徴収された。災害の際の福祉避難所への避難の費用負担については、行政で対応してもらいたい。</p> <p>④福祉避難所を地区ごとに確保してもらいたい。</p> <p>⑤高齢者にとって避難所ではベッドが良いので、段ボールベッドを設置してもらいたい。 要援護者への対応に力点をおいて、不都合が生じないように早急に対応策を検討してもらいたい。 避難所には要介護者や障害者用の別の部屋を設けてもらいたい。 一般の避難者は石井小学校、要援護者は五和公民館というように、避難者を区別してもらいたい。</p>	<p>①担当課に検討するよう伝えます。</p> <p>②災害対策基本法により指定避難所が指定されており、指定避難所には毛布や食糧は届けますが、自主避難所には届けていません。したがって、災害の際は、とりあえず近くの自主避難所に避難いただき、その後、指定避難所に移動してもらいたいと思います。なお、本件のような事例は多くの地区で見受けられましたので、今後、指定避難所のあり方を見直す必要があると考えています。また、自主避難所に避難するしかない場合もあるかと思しますので、毛布を取りに来られた場合の提供等についても検討します。</p> <p>③市内の福祉避難所の確保は図っていますが、費用の面は承知していませんので、持ち帰り、調査の上、検討させていただきます。</p> <p>④現時点で福祉避難所は市内29箇所まで248人が受け入れ可能と聞いていますが、要援護者台帳には約2,000人の登録者がいる状況です。現在、市の担当課において、福祉避難所の周知を図っていくとともに、マニュアルを作成しています。今後、社会福祉施設等への要請や避難所のバリアフリー化等を図り、受入体制の整備を検討していきます。</p> <p>⑤今後、要援護者の避難の対応については、これらの意見を十分に斟酌して検討させていただきます。</p>	<p>○家屋の耐震診断・改修制度について</p> <p>①耐震・リフォームアドバイザーは日田市に何人いるのか。</p> <p>○ふるさと納税制度について</p> <p>②日田人会などを有効に活用し、依頼したらどうか。</p> <p>③自治会還流制度について、自治会や地区が地域でがんばっている内容を市ホームページで情報発信してもらいたい。</p> <p>○移住受入れ地域認定制度について</p> <p>④説明のあった今回の制度は、豊後高田市など他都市の制度と比較してどうか。</p> <p>⑤この制度設計のアピールを十分してほしい。</p> <p>⑥日田市における移住者の受け入れの実績を伺いたい。</p>	<p>①大分県建築士会で対応し、日田市においても建築士はいませんが、人数は把握していません。</p> <p>②日田高校の同窓会組織「陽柳会」は、毎年、同窓会が東京、大阪などで開催されていますので、職員が出席しPRしています。今後、ほかの同窓会などに拡大していきたいです。</p> <p>③本年度、市ホームページの更新を予定しており、情報発信の内容を見直す中で、検討していけたらと思います。</p> <p>④この制度は、先進都市の事例等を参考にして制度設計をしていると思います。</p> <p>⑤あらゆる機会を捉えてアピールしていきます。</p> <p>⑥空き家バンクには、平成21年度から平成27年度までで、37世帯、61名であります。民間のアパート等を借りている移住者もいると思われていますが、市では、把握できていません。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑥防災メールの発信の基準はあるのか。</p> <p>⑦当地区では、隣のうきは市の情報はすぐに入ってくるが、市の情報発信は遅いので、迅速に対応してもらいたい。</p> <p>⑧振興センターの職員に対する災害時の対応について、指導を徹底してもらいたい。</p> <p>⑨土砂崩れで高井町のトンネル内の歩道が不通になっているので、早急に対応してもらいたい。</p> <p>⑩平成24年の九州北部豪雨では要援護者の状況確認が市から自治会にあったが、今回はなかった。</p> <p>⑪要援護者の状況確認について基準を設けたらどうか。・民生委員に対して、地震後すぐの避難の最中に、避難所に行けない要援護者を誘導してくれと言われたが、即時に対応できないので、要請の時期等を考えてもらいたい。</p> <p>⑫有線放送等があり、水郷テレビに入っていない地区について、安価に、防災端末の整備を行えないか。</p> <p>⑬防災士の資格取得後のフォローアップをしてもらいたい。防災士との話し合いの場等を設けてもらいたい。</p>	<p>⑥避難所の開設や避難準備等の情報は市で発信していますが、地震や雨の状況は他(ウェザーニューズ)に委託しています。地震では震度1から、雨の場合は警報や注意報の発令等を発信しています。</p> <p>⑦現況を確認させていただきます。</p> <p>⑧検証させていただきます。</p> <p>⑨県に要請します。</p> <p>⑩指定避難所には職員が行って避難の状況を確認しています。今回の地震については家屋の倒壊などの大きな被害がなく、地震の恐怖に対する避難の占める割合が大きかったと感じています。いずれにしても要援護者の避難の状況把握については、整理させていただきます。</p> <p>⑪指定避難所では避難者の名簿作成を行っています。いずれにしても要援護者の避難に対する課題が多く出されましたので、今後十分検討させていただきます。</p> <p>⑫告知端末の設置は高価という話を伺いますので、調査して検討します。</p> <p>⑬自治会と防災士の連携は大事なことであり、他地区でも同様の意見が出ています。防災士のあり方、活用等について、今後検討していきます。</p>	<p>○その他</p> <p>⑦災害で家を失った人に空き家を提供したらどうか。うきは市においては、すぐに市営住宅の提供を表明している。</p> <p>⑧市役所の窓口で、ワンストップ・サービスが必要ではないか。他市においては、課長や係長が窓口の近くにいる、部下につないでいる事例もある。また、職員が人事異動で代わっていくので、職務の継続性が図れないのではないか。</p> <p>⑨廃屋空き家が当地区にもあるが、危険なので、市として対応してもらいたい。</p> <p>⑩原付自転車にいわゆる「ご当地ナンバー」を設けてはどうか。</p> <p>⑪今日のような会合も含め、地域の活動に市職員の顔が見えないので自治会活動等に積極的に参加してもらいたい。</p>	<p>⑦今回の熊本地震において、日田市においても災害被害者に対し、市営住宅を7戸確保しました。また、市内に空き家が400戸程度あるので、社会福祉協議会において災害被害者に対するワンストップ・サービスで対応を行っています。</p> <p>⑧ワンストップ・サービスは早急に取り組まなければならないと考えています。窓口対応等についても、市の姿勢として真摯に対応しなくてはならないと思っています。</p> <p>⑨特定危険空き家については、法改正により取り扱いが改正されました。現在、担当課において、委員会を立ち上げようとしていますので、早急に取り組みたいと考えています。</p> <p>⑩「ご当地ナンバー」の採用は、現時点では考えていませんが、検討します。</p> <p>⑪貴重な意見として捉えます。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
					<p>⑫雇用の拡大において、企業誘致は重要だが、石井工業団地の現在の状況はどうか。また、築堤の設置を国土交通省に要請しているが、新たな企業進出があればとの回答も得ている。</p> <p>⑬年度当初に各部の方針がホームページに掲載されているが、年度末にその総括をしてもらいたい。</p>	<p>⑫石井工業団地内には、現状10haと4haの田畑があり、取得のため、地権者と交渉をした案件もありますが、土地の価格に開きがあるなどの課題があります。</p> <p>⑬検討させていただきます。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
F班 班リーダー 江藤総務部長	光岡 (29)	7月25日(月) 19:30~21:00 光岡公民館	<p>①防災用品の購入に補助がある(P17)と言ったが、自分の地区は世帯数が少なく負担が大きい。地区単位の補助ではなく世帯数に応じた補助や補助率アップを検討して頂きたい。</p> <p>②メールやフェイスブックを使えない独居老人などへの対応はどう考えているか。</p> <p>③光岡公民館は指定避難所になっていないのか。地区民にとって一番近い、自治会公民館の充実を図るべきではないか。</p> <p>④自治会公民館を持たない地区への公民館建設費用は防災の拠点としての位置づけで補助金を出すことなど検討できないか。</p> <p>⑤浄化センターが避難場所になっているが、以前から避難場所として指定されていたのか。浄化センターの中がどのようなになっているのか見学会等を催し施設内の状況を確認したい。また、南友田町の避難場所として光岡小学校、日田林工高等学校が挙げられているが、避難経路に庄手川、花月川がある。平成24年の九州北部豪雨災害時には河川の氾濫で光岡地区への道路や橋梁が遮断され、避難できない状況であったので、避難経路等についても検討して頂きたい。さらに、避難勧告、避難指示について私たち市民はこれに対して、どの程度従えば良いものか伺いたい。</p> <p>⑥日田林工高等学校が避難場所として指定されているが、災害時に緊急避難場所が施錠されており、学校関係者が到着するまで中へ入れなかったため、合鍵等を地区責任者へ渡し、管理してもらうことはできないか。高齢者、要介護者の搬送に苦慮しているので、体育館玄関口の整備をお願いしたい。</p>	<p>①規模等により上げることも検討したい。</p> <p>②防災メール、防災無線、無線が聞こえないときに内容確認する電話サービスを設けた。また、避難所でKCVなどテレビを見られないかという声もあり、体育館などでできないか検討している。多くの媒体で情報伝達を行う検討をしています。</p> <p>③光岡公民館は指定避難所になっていない。光岡小学校がなっている。指定避難所は一定期間、良好な生活環境を担保する必要がある。自主避難で公民館に避難し、長期になれば指定避難所に移動することになる。法律に基づいて簡易ベッド、毛布や食料、水などは市が準備します。</p> <p>④公民館の改修、建替えには自治会事業があり、3,000万円の予算を計上している。必要に応じて補助率の引き上げや予算の増額を検討します。</p> <p>⑤避難場所の周知が大事であり、見学会は有効であると考えます。現在のハザードマップは平成20年に作成したもので見直しが必要な箇所もあります。これまで風水害を中心に考えていたが、地震時にも正確な避難場所等の周知が必要と考えているため、そこらも含めて検討していきたい。近年はゲリラ豪雨の発生など、瞬時で状況が変わるため、早めの非難を呼びかけている。外に逃げるより上に逃げた方がいいこともあるため、情報をしっかり聞いて、一人ひとりが、周囲の状況を的確に把握し、避難してほしい。</p> <p>⑥日田林工は県立高校なので県と話を詰めていきたい。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑦日田林工避難所のトイレの段差等の解消、高齢者に配慮した改修をお願いしたい。</p> <p>⑧日田林工の合鍵を貸してもらえないか。</p> <p>⑨昨年、林工で防災研修をした時に県に話しておいたが、その後返事がない。</p> <p>⑩吹上台地の下から北友田一丁目にかけて、土石流の発生が懸念されるが、そこらの点検や砂防ダム等の検討はできないか。</p> <p>⑪岳林寺から三隈高校にかけての山側が心配である。自治会から要望したらよいか。</p> <p>⑫指定避難所と自主避難所の違いは何か。また、どこにどれくらい避難しているとか連絡網や、食料等の状況がわかるといいが。</p> <p>⑬自主避難所には毛布や食料はないのか。</p>	<p>⑦公民館のトイレの改修は自治会事業を活用していただきたい。</p> <p>⑧合鍵は近所の方が保管しておくのがよいと思います。鍵の複数の保管について、現在検討しています。</p> <p>⑨県所管であるため難しい問題もあるが、改めて県と協議したい。</p> <p>⑩県指定の急傾斜地域であり、コンクリート吹付がほぼ終わっているのではないかと心配であれば、県と協議しますので要望を出していただきたい。</p> <p>⑪要望があれば市で確認しながら、現地を見にきたい。</p> <p>⑫災害対策基本法で地方公共団体が避難場所を指定しています。市が指定した場所については、行政が直接的な支援を行っています。指定避難所はある一定期間居住し、生活することとなるため、避難所の開設には職員が動員されるが、自主避難所は一時的なものであり、そこから指定避難場所へ移動してもらうことになります。避難所の開設・運営には職員配置の対応など物理的な問題もあり、南阿蘇村の避難所においても、他市町村の職員が支援を行うことで運営されていました。日田市からも職員を派遣し、業務支援を行っているが、一つの自治体だけでは、対応することが困難なこともご理解いただきたい。自主避難所での避難の状況把握についても、市として必要であると考えており、自主避難した方が、市へ連絡いただける仕組みを検討します。</p> <p>⑬自主避難の場所は、あくまでも一時的避難で、食料等の直接的な支援は考えていないので、ご理解いただきたい。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
	夜明 (17)	8月1日(月) 19:30~21:10 夜明公民館	<p>①国道386号夜明大橋で雨天時に信号待ちをしていたが、崖崩れが心配であった。将来的には何らかの対策をお願いしたい。夜明から関までの間、片側は川、反対側は崖でありコンクリート吹付がされているが、危険なところがあることを、市は認識しておいてほしい。</p> <p>②今回の地震では、発生が夜中であったため、停電で真っ暗闇になったので動きが取れない状況であった。懐中電灯を用意しておくべきであった。独居の高齢者に電話したが出なかったため、家に行ってみると元気だった。家人から夜中に電話があっても、振り込み詐欺など防止のため出ないように言われているらしい。これらのことから今後、高齢者への対応の仕方が急務になってくるのではないかと思う。</p> <p>(意見)7/29福祉協議会の勉強会を開いた。高齢者との対話が必要と言われていた。そこから信頼関係が生まれる。</p> <p>(意見)24年災害のとき、水が増水し、近所の高齢者を助けに行ったが、頑固で動こうとしなかった。</p> <p>③自主避難、避難勧告と避難指示の違いは何か。</p> <p>④熊本地震の避難所の様子をニュース等で観た。指定避難所に物資が運び込まれるが、自主避難所には物資は何も運び込まれていなかった。24年の災害時にはまったくそれと同じ状況だった。川崎、関の人は夜明公民館に来ることができず、夜明から大明小中学校には避難に行くこともできない。そのため、それぞれ近くの公民館に避難している状況だった。自主避難所にも物資等の援助はできないものか。</p> <p>(意見) 自助があるから自分たちでやりましょう、まずは自助からという意識を持つことが大切。社会福祉協議会のネットワーク会議を先週開いた。そうした機会を通して早めの避難を呼びかけるべきだと思った。</p>	<p>①そういった危険箇所も含めて、何らかの方法で、被害状況等の情報を確認しようとした方はいなかったらどうか。携帯電話で防災メールの登録をしていただきたい。災害に対する行政の対応や被害状況を知ることができる。自分自身で情報を確認する姿勢をお願いしたい。</p> <p>②24年の九州北部豪雨の際、要支援者の救助に行ったが「なぜ、自分の所在がわかったのか」と疑問視され、個人情報の取り扱いが問題になった経緯がある。吹上町の検証にもあるように、面談により個人情報の取り扱いについての意思疎通を図り、本人の承諾を得ることが大事です。</p> <p>③避難勧告は被害の可能性があるというところで発している。基本的に避難勧告は自主的に避難してもらいたい、避難指示は、皆さん早く避難しなさいというものであり、差はあります。言葉の違いを実感できない人が多いようです。災害が起きてからでは遅いため、被害者を出してはいけないという状況下で、その可能性があれば放送等で呼びかけていきます。</p> <p>④指定避難所は市内に89か所あり、職員を2人ずつ配置して物資を運ぶ班などが出勤することになれば、職員が足りず対応できなくなります。指定避難所については行政が責任を持つが、道路災害、河川災害、人的災害が起きている等の状況では、640人の職員では、対応する人的能力に限界があります。自主避難所は、一時的に非難する場所で、指定の避難場所に移っていただくことが基本なので、対応ができないことについてはご理解をいただきたい。</p>	<p>○家屋の耐震診断・改修制度について</p> <p>①耐震診断・改修について、公民館は対象になるのか。</p> <p>○移住受入れ地域認定制度について</p> <p>②夜明駅下の国道沿いの空き家と道路の間が陥没して隙間が空き、非常に危険である。市から県に話してほしい。</p> <p>(意見)移住受け入れという話であるが、今いる人も市外に出ていくことになるような、厳しい状況だ。</p> <p>(意見)デマンドバスは夜明を走っていないが、大鶴には行っている。</p> <p>③ひたはしり号の料金は100円均一になったが、その効果はどうか。</p> <p>④大きなバスが走っているが、乗る人はいない。乗客が少なければ小さなバスでもよいのではないか。</p>	<p>①補正予算で対応できるよう協議をしています。また、耐震の補助も考えています。公民館改修については自治会事業があり、それで対応できます。</p> <p>②現場を確認します。 ※「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.22に記載】</p> <p>③まだ検証ができていません。</p> <p>④日田バスに委託しているおり、コミュニティバスなどの運行は、1億5千万円程度の予算で実施しているのでぜひ利用してほしい。利用者が増えれば、便数を増やすことも可能となるので、ぜひご利用いただきたい。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>(意見)竹田市のように他地区が災害で被災したら、自分の地区の避難所を解放したりしているようだが日田市でもそのような対応策を考えたらどうか。</p>		<p>○その他</p> <p>⑤シカが多く、農作物などを食い荒らして大きな被害を受けている。</p> <p>(意見)佐世保市では老人クラブ会員証で各種割引がある。それが町の活性化にもつながっている。参考にしてはどうか。</p> <p>⑥日田の気温が日本一高いとニュースで報じられることがたびたびある。西日本新聞に出ていたが、市内に温度計を設置するというアイデアはいいと思う。群馬県の事例もある。日田の駅前に設置してはどうか。変わったこと、思い切ったことをしないと日田は変わらないのではないか。</p> <p>⑦メリットのある制度を行政が作らなければならない。バスは無料にしてみてもどうか。</p>	<p>⑤捕獲1頭につき報奨金1万円出したり、被害防止のための金網柵の設置には現物無償支給、電気柵には費用の2/3補助などしているが、対策が追いつかないのが実情です。</p> <p>⑥暑さをアピールするのも1つの方法と考える。駅前のリニューアルを計画しているので、内部で検討してみたい。</p> <p>⑦免許証返納の課題もある。いま議論しているところですが、高齢者の移動手段の確保が必要です。ご提案を検討させていただきます。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
	大鶴 (28)	8月8日(月) 19:30~21:10 大鶴公民館	<p>①大鶴は地形が縦に細長く、真ん中に鶴河内川が流れ、大肥川も流れている。今回の地震では問題はなかったが、水害の時、台風の際は公民館までたどり着くのが大変である。平成24年災害の経験で上宮町の方は早めに避難所に来ていた。今回の地震では市職員の対応はよかったが、避難所に来ている避難者の名簿が作られていないため、避難者の状況がつかめず、外部からの問い合わせに苦慮したので、そこらの改善をお願いしたい。全体的に見て、24年に比べたら非常に良くなったと思う。</p> <p>②防災無線は聞こえない状況である。7か所くらいにスピーカーが付いているが、距離間隔が長すぎて聞こえにくい状況である。防災メールにはいろんな情報が頻繁に入りすぎる。もう少し地区ごとくらいの範囲の、詳細な情報を発信できないだろうか。</p> <p>③平成24年水害の後、大きな河川の復旧や改修は終わったが、小規模な小川や谷が局地的な豪雨による増水で被害を受けたところがある。</p> <p>④上宮町のほとんどがハザードマップでは危険区域になっており、自主避難ができる場所がないため、指定避難所に避難するしか方法がない。避難経路もハザードマップでは危険区域箇所が非常に多い。また、夜間の避難時には、市職員に大鶴公民館を開けてもらうのは躊躇する。これらを含めて市には早めの情報提供をお願いしたい。</p>	<p>①情報収集と判断が大事であり、24年の災害を経験しているという事で台風情報、大雨情報に対し、市が避難勧告、避難指示を発令したときには、速やかな避難をしていただけるであろうと期待をしています。地震は、突然発生するし、被害は市内全域に及ぶことが考えられ、その対応は難しいと思われます。今回、課題になっているのは、災害直後の被害状況の情報であり、正確な情報を収集しないと、その対応もできないと考えています。</p> <p>②ケーブルテレビ、携帯メール等での情報発信を行っているのですが、いずれかの方法で情報収集を行っていただきたい。災害発生時における多くの情報は無駄にはならないと思います。また、災害時に実際にどこで何が起きているのかわからないという声があり、ひとつの対策として、ケーブルテレビで災害対策本部の情報を中継ができるようにしました。また、防災無線が聞き取りにくい状況であったため、今年度から設けた「防災無線確認ダイヤル」へ電話をかけていただくと、放送内容を確認できるので利用していただきたい。</p> <p>③どのような場所があるのか振興協議会等を通じて教えていただきたい。</p> <p>④避難勧告等の発令基準を見直しました。今日も先ほど雨に関する警報が出されたが、国土交通省、気象庁も大雨情報の発令基準を見直しているため、以前よりも時間的に早めの情報提供をしています。避難勧告、避難指示等が発令されたら、早めに避難などの対応をお願いします。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑤現在の状況では国土交通省、気象庁などホームページを見たりもするが、住民に対する告知となると、市の方の対応になるのでよろしく願います。また、避難勧告と避難指示の違いは何か。</p> <p>⑥自主防災組織はあるが、名前ばかりで現状では機能していない。地震発生時に何らかの電話があるか待っていたが、なかったので早朝から地区内の見回りをして被害が何もないことを確認した。地震の場合は一過性のもので、行動を起こしにくい状況であった。被害状況も後でわかったようなことである。地震による被害状況をどうやって収集すれば良いかお聞きしたい。</p> <p>⑦大鶴公民館に行くより近くの自治公民館に避難した方がよいと思うが、どうか。</p>	<p>⑤避難勧告は被害の可能性があるところで発しています。基本的に避難勧告は自主的に避難をしてもらいたい。避難指示は、皆さん早く避難しなさいというものであり、差はあります。災害が起きてからでは遅いため、被害者を出してはいけないので、被災の可能性があれば放送等で呼びかけています。平成24年災害時には朝7時に勧告を出し、その1時間後には避難指示を出していた。豪雨時の状況は刻々と変化していくので、避難勧告等が発令されたら速やかに対応していただきたい。</p> <p>⑥重要な情報は、役所・テレビ・ネットやメール等で取得できます。自主防災組織については、先程紹介した吹上町を参考にされると良いかと思います。課題は、要支援者への対応です。24年の九州北部豪雨の際、要支援者の救助に行ったが「なぜ、自分の所在がわかったのか」と疑問視され、個人情報の取り扱いが問題になった経緯があり、事前に要支援者への準備が必要で、何かあったら助けに行くからとあらかじめ知らせておくなど、日ごろから意思疎通を図っておくことが大事ではないかと思います。</p> <p>⑦指定避難所と自主避難所というのはハッキリと分けています。指定避難所については、行政が責任を持って対応します。自主避難所への行政からの直接の支援は基本的にはありません。指定避難所は市内に89か所あるが、職員を2人ずつ配置して、さらに物資を運ぶ班などが出動することになれば、職員が足りず対応できなくなります。道路災害、河川災害、人的災害が起きている等の状況では、640人の職員では、対応する人的能力に限界があります。自主避難所は、一時的に非難する場所で、その後指定の避難場所に移っていただくことが基本なので、対応ができないことについてはご理解をいただきたい。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑧平成24年の災害は予想していなかった。市役所に電話してもつながらなかった。最近、市はそれなりの情報を提供しているようである。近年のように異常気象が続くと心配で自治会長などはヤキモキしている。24年は土石流が来てNTT線が切れたが、市の有線テレビの線が生きていて、それで電話ができたのでよかった。ある高齢者は避難に応じず、もうここで死んでもいいと言っていた。高齢者にも早めの避難を啓発すべきだと思う。平日の日中は若い人は仕事に出ており、残るのは高齢者である。こういう高齢者をどう救うか課題である。</p> <p>⑨森林組合が作業道を入れて、それが水道となって下流の集落に被害を拡大させている。そこらを行政はどう考え、どう指導しているのか伺いたい。</p> <p>⑩林地残材が水路暗渠をふさぎ、被害を拡大させている状況であるため、山から林地残材を持ち出すよう森林組合に指導してほしい。</p> <p>⑪指定避難所である大明小中学校には防災用具が用意されているのか。方司口川の洪水時、土のうを作ろうとしたが、屋根がないため雨の中の作業となり、砂が濡れて重くなり大変苦労した。屋根設置、もしくは、あらかじめ土のうを作って保管しておく方法をぜひ検討いただきたい。</p>	<p>⑧いろんなかたちで情報発信をしていきたいと考えています。土日なのか、夜なのか昼なのか、いろんな状況を想定して検討すべです。民生委員さんの協力もいただき、自治会でも議論していただきたい思います。</p> <p>⑨作業道の開設には県が示した作業道の作設指針があり、その技術を持った技術者が作業をしています。排水処理や線形など考慮して決められています。24年災害は想定を超える豪雨であり、被害が拡大した要因となった可能性が高いです。対策工を幾つか実証実験をしたが、それが補助事業ではないため、近く(市長自身が)大分県治山林道協会の理事にもなるのでその中でも議論してみたい。</p> <p>⑩バイオマス発電所ができて、間伐材などの林地残材が活用されるようになり、山は大分きれいになっています。枝葉の活用を検討している団体もあるようです。流木被害森林緊急整備事業という事業があり、大肥川や鰐川沿いの森林の整備を行った。溪流沿いの森林の強間伐を行うもので、事業個所を探しているので提案いただきたい。</p> <p>⑪毛布や非常食など各地区分散して備蓄しているが、非常食などの更なる備蓄について考えています。今回の検証の中で地震時の火災発生が懸念され、特に独居老人が心配になるので、防災訓練もお願いしたい。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑩土のう詰めには電灯も必要だ。それから、小野の段ボール工場火災では深夜2時に消防団が出動して5時半に詰所に戻り、6時半に解散した。ホースの後始末に大変な労力と時間を要するので、ホースを干す電動モーターを配備してほしい。 そういう装備面を充実しないと分団の欠員がますます増える。 地元で働く団員がいなくなっている。 消防車の運転をする人がいない。OBにも消防車を運転できるようにならないか。</p>	<p>⑪技術と経験を持ったOBの方などを活用できないか消防団と協議したい。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
G班 班リーダー 投野企画振興 部長	咸宜 (20)	7月27日(水) 19:30~21:00 咸宜公民館	<p>①説明では咸宜地区の指定避難所に咸宜公民館が入っているが、先日の地震時には避難所として開設していなかったと聞いたが、どういうことか。</p> <p>②避難所に行ってみないと分からないということか。</p> <p>③災害はいつ発生するか分からないので、予測して計画を立てるのは難しい。ただ、市の計画は地域のためになっているのか疑問である。防災は、個人個人の被害の把握や判断・行動が大事で、丸の内町の場合は堤防を越えて水が入ってくることはなく、高齢者が一人で避難するのは困難であるし、あわてて増水する雨の中、咸宜小学校や公民館に避難するよりも自宅の2階や近くの鉄筋のアパートを利用するほうがよいと思われる場合がある。また、吹上の場合には避難所には市の担当職員がいなかったということだが、職員が一人でもいれば連絡もできたし、対応ができたのではないか。災害が起きた場合の避難は、個人の判断で行う、まず個人での対応をどうすべきか自治会ごとに研修を行ったほうがよいのではないか。</p> <p>④市役所のできることは教育であり、災害の後の処置が仕事である。災害発生時の対応は自治会の仕事であり、個人での対応と思うので、年に何回かは自治会ごとにこのような講習を開くべきである。そうでないといつも何か起こったら市役所がしてくれるのではないかと考える。特に大切なのは一人暮らしや高齢者については、こういう話は知らないし、誰かが助けてくれるだろうという感覚しかない。住民に対して自分の命は自分で守ることを十分説明し徹底してほしい。</p>	<p>①咸宜公民館は市内の指定避難所89箇所の中に入っています。災害の状況によって開設場所を決めており、今回の地震では48箇所を開設したが、開設している最寄りの避難場所に避難してもらいたい。また、避難場所としてどこがいいのかということも含めて、見直しの余地があり、適当な良い場所があれば、地元の皆さんの意見をお知らせいただきたい。</p> <p>②避難準備情報や避難勧告を行うときには、避難所の開設場所はお知らせしています。</p> <p>③市は、基本的に安全な指定避難所へ避難してくださいと指示はするが、一人ひとりの状況が異なるため、避難についてはここが安全だと思えば個人で判断してもらっても問題はありません。災害対策基本法で、市役所は指定避難所を設置しなければならないようになっており、一定の期間、安全に過ごせるような生活環境を整え、食料、水、毛布などを準備し、担当職員も配置し対応することが市の責務とされています。ただし、自主避難所については職員の人数的にも無理があり、職員の配置は申し訳ないができません。まず安全な場所に避難してもらい、状況が落ち着いてから指定避難所へ移動していただきたい。また、自治会ごとに防災組織を作って訓練することや、緊急の場合はどこに逃げるなどの申し合わせはしていただきたい。特に要支援者についての手立てや計画を考えていただき、その支援は市で考えたい。</p> <p>④吹上町自主防災会は、5つの班に分けています。一つ一つの班がその班で完結できる防災行動を取るようにしています。高齢者、体の不自由な方の避難所への誘導については、班ごとに名簿を作成しており、福祉委員や民生委員が訪問して直接聞き取りを行い、支援担当者を確認して支援体制を作っています。このようなことを参考に今後、自治会の防災組織の見直しを行っていただきたい。また、地区ごとの研修会は検討してみたいと考えています。</p>	<p>○移住受入れ地域認定制度について</p> <p>①移住奨励金は毎月もらえるのか。また、39歳までか。</p> <p>○その他</p> <p>②万が一松原、下笠ダムが決壊した場合、日田市に到達するまでの時間や水位の上昇がどの位になるのか。また、中国でダムからの緊急放流で村が流れたこともあり、大雨で水位が上昇してオーバーフローした場合など、どの位水位が上がるのかを想定しているのか。</p>	<p>①移住奨励金は1回限りです。申請は、現在のところ10数件、Uターンの方は何歳でもよく、Uターンでない方は39歳までの若者が世帯に一人でもいれば、対象となります。</p> <p>②放流のルールもあり、梅雨時期、台風時期には早めに水を流して対応しているので、まず、中国のようなことはないです。ダムの崩壊は絶対はないとは言えませんが、今まで全国的に崩壊の事例はなく心配は少ないと思われます。ダム管理事務所とも定期的に意見交換会を行っているので、その中で情報を集めていきたい。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑤ 咸宜小と咸宜公民館の指定避難所は、ほぼ同じ位置にあり、職員を2人置いても無駄ではないのか。重複する場所は削除し、別の場所に自主避難ではなく短期間での臨時指定避難場所を設定することはできないのか。</p> <p>⑥ 防災無線が非常に聞き取りにくい。拡声器で流す情報はゆっくり間をおいて話し、声の通る人がアナウンスするなど配慮してほしい。また、電話回線の確保が大事であり、少ないと繋がりにくいし、簡潔に行わないと時間ばかりかかる。防災メールも、群発地震が発生している期間では、震度1の配信は必要ない。大事な必要な情報のみを発信してほしい。フェイスブックでは、「いいね」をチェックすると、古い情報が上に上がってしまう。新しい情報がつかみにくいで、古い情報は順次削除してほしい。</p> <p>⑦ ユーチューブでの行政情報、災害情報はどのような内容を発信していくのか。</p> <p>⑧ ユーチューブは世界に発信できるので、日田出身者に新聞やテレビに出ないような小さな日田独自の情報を発信してはどうか。</p> <p>⑨ 発信の方法も大事であるが、高齢者にはフェイスブックといっても分からない。そういう前に、そういう人たちのために何をすればいいのか具体的に指示してほしい。</p> <p>⑩ 防災無線の声が聞き取りにくいので、この近くに防災無線を立てる計画はないのか。</p>	<p>⑤ 指定避難所はすぐに鍵を開けられるようにしており、臨時的に指定避難所を開設することは難しいと考えています。ただし、災害の状況により必要がある場合はその限りではありません。</p> <p>⑥ フェイスブックの情報で、古い情報が上に上がるとのことについては、担当課に確認します。防災メールについては自動配信となっており、改善できるか確認したい。</p> <p>⑦ ユーチューブは、最近立ち上げたばかりで、まだ十分な動画が集まっていません。災害関係の配信は現在検討中であるが、被害状況等が発信できればと考えています。</p> <p>⑧ そのような活用もできると思うので検討したい。</p> <p>⑨ 要支援者の対応は大きな課題と捉えています。情報伝達はなかなか難しいことであるが、近所の声かけが大事であるとともに、自主防災組織の活性化という中に取り入れていただきたい。市も避難情報を早め早めに出すので、地域の方にも要支援者を連れて早めに避難をお願いしたい。ただ、そのような取り組みはまだ定着していないので、これからの研修の中に取り入れていきたい。</p> <p>⑩ 防災無線の話はどこの地区でも出ており、谷が多く全ての要望には予算上応えられません。ただし、重要な伝達手段であるのは間違いないので、市としての課題として捉えています。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑪山に携帯電話の鉄塔がたくさんあるが、防災無線に活用はできないのか。</p> <p>⑫消防署が移転して防災無線が聞こえなくなった。SNSやフェイスブックなどは高齢者には分からない。自治会長に回覧板で活字で人間らしく伝えてもらいたい。</p> <p>⑬防災無線は、マイクの使い方によってずいぶん違うので専門家に相談して対処してもらいたい。スピーカーの方向を4方向に分けてそれぞれ30秒おきに放送したら聞き取れるのではないかと思うので研究してほしい。</p> <p>⑭日田市は地盤に大きな岩盤があるので地震はあまり恐れなくてもいいと聞いているが本当か。</p>	<p>⑪鉄塔の数が防災行政無線のスピーカーに比べると圧倒的に少ないので難しいと考えています。</p> <p>⑫情報伝達についてはいろいろな方法で努力しているが、高齢者等がSNS等ができないことも認識しています。防災無線は、逆に数が多いと反響があって、かえって聞こえにくい。間を空けたアナウンスにも留意したい。自治会長を通じての情報発信もできる範囲で検討したい。</p> <p>⑬研究してみたい。</p> <p>⑭活断層は市街地にはないことになっているが、扇状地となっているので、地盤はあまりよくないとも聞いています。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
	上津江 (20)	8月2日(火) 19:30～21:30 上津江振興局	<p>①吹上町では71名が熊本地震で避難し、住民は何名いるのか。また、今回うまく避難できたのかどうか聞きたい。上津江診療所にいたが、情報が入ってこないため動きが取れず、上津江振興局へ連絡を入れて避難状況を聞いた。診療所にも情報を逐次流してもらいたかった。診療所で災害緊急用のバック、薬の用意をして、いつでも出られるような体制を取っていたが、出勤の要請はなかった。今回のような地震が起きたとき、地域の中でどのくらいの人が避難できるのか。その把握ができているのか。また、避難所をどうするのか。説明してもらいたい。</p> <p>②緊急時に配属してもらえるような防災士の養成を行ってほしい。上津江町には、防災士が4名しかいない。上津江は特異な地域なので、地元の状態を詳しく把握でき、常日頃から勉強会や研修会を開催していただける防災士を早急に養成してほしい。元看護師に医療行為ができるのかどうか。法的な問題があるのか。もし医療行為ができるのであれば、元医師や看護師のリストを作ってもらい、地元で対応できるような新体制を作ってもらいたい。</p> <p>③看護師の登録制を国が推進していると思う。看護師は免許を持っているので、医療行為を行えると思うが、とりあえず血圧等を測ったり、人の話を聞いたり、人と接してくれればそれだけでもよいと思う。</p>	<p>①正確な住民の数は分からないが、500～600名ぐらいだと思います。 上津江診療所については、ケガ人が出たら、患者を診療所に送り込むということで待機依頼をしました。連絡体制に不備があったと思うが、振興局の職員が16名しかおらず、道路関係の対応に追われていました。今後は情報の共有をしていかなければと思っています。 診療所の医師については、振興局に待機してもらうことが良いのか今後検討します。 避難所の状況は、避難が落ち着いてから本部や振興局に情報として入ってきます。今回、各避難所に行きづらいということがあった。地震発生後、災害対策本部にラインを引いて、ライブで情報を発信できるよう改善しています。 要支援者について、平成24年の豪雨災害のときに、要支援者の自宅に救助に向かったが、「なぜ私がここに居るのが分かったのか」と言われ、個人情報の問題が課題となり、そのため、吹上町では、要支援者リストを作成し、要支援者との面談を行い、意志疎通を図っています。夜間に電話に出ないようにしているところもあるので、常日頃から地域で意思疎通を図っていくことが大事です。</p> <p>②上津江町は、谷ごとに集落が分かれており、今回のような地震のときは全てが孤立してしまう可能性があります。「自主防災組織の活動支援」「地区で活動する防災士の養成の支援」「地区の勉強会の支援」などの制度を活用してほしい。今回の地震が朝方や夕方の火を使う時間帯であったら火災の発生も考えられるので、各地区で消火訓練も含めた訓練を行ってほしい。発火時には、個人の力、近隣の力しか支えることができないので、是非取り組んでもらいたい。消防団には若手や団員数が少ないので、消防団の中で機能別消防団の話をしている。トライウッドには、昼間若い人材が多いということで、今後検討してもらおう余地があると思います。</p> <p>③各避難所に保健士を派遣したり、巡回させたりするので活用してほしい。</p>	<p>○ふるさと納税制度について</p> <p>①自治会交付金は、使途に制限があり、年度をまたがって使ってはいけないという制約がある。また、交付金の請求は、申請書、請求書、実績報告書及び領収書を付けなければならず、煩雑な業務である。今後、簡素化した請求手続きを検討してもらいたい。</p> <p>○移住受け入れ地域認定制度について</p> <p>②空き家活用奨励金の適用要件は、移住者ひた暮らし支援事業補助金制度が履行された結果、奨励金の支払いになるのか。その場合、5年以上日田市に住む予定であるということだけで、補助金が支給されるのか。</p> <p>③地震で被災した方に対し、空き家の提供はないのか。</p>	<p>①交付金は、飲食以外であれば何に使ってもかまいません。透明性を確保しないといけなく、報告のできないようなお金の使い方はできません。手続きの簡素化については、現在検討を行っているところです。交付金は1年で使わないといけなくて、使いまわしに問題がなければ、繰越ができないか研究しています。</p> <p>②5年以上日田市に住む予定の方で、1年は経過して申請することとなりますが、予定で来た時点で支払うことができます。空き家活用奨励金については、空き家バンクに登録された物件で、売買や賃貸の契約が整えば、空き家の所有者に5万円を支払います。</p> <p>③被災した方に対して市営住宅を提供するという情報は発信していますが、今のところ希望者はありません。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>④今回の場合は、道が壊れていた为上津江まで来れないと思う。</p> <p>④地震で汗入場が崩れたとき、テレビ、携帯電話、防災無線も使えなかった。固定電話は一部ついてしたが、道路も寸断され2日間くらい町内がどうなっているか分からなかった。防災無線が使えるようになって初めて状況が分かってきた。ラジオは、近くの事は言わないので使えない。そういったときに体制をどう作っていくのか、今後の大きな課題だと思う。上津江町だけで、地域消防団、振興局、自治会、民生委員の4者で話し合いをした。自治会組織を基本にうまく回していった。安全確認を班長から自治会長に伝え、自治会長から振興局、消防団本部のルートを作った。今年は地震で避難所が危険ということもあり、毎年やっている避難訓練のやり方を変えて、①地震のときは、自分の身は自分で守る。自分で安全と思えば家に居ること。②避難した人は必ず班長に連絡し、班長から自治会長へ連絡する。自治会長から連絡を出す。情報を一本化しようということにした。要支援者のリスト、支援者が近くにいないので、班の人が助けられないといけない。それは、昔から根付いてきているので、班単位でやってくださいと言っている。4つの自治会がすべて統一してうまく動くことができた。避難した報告はあるが、避難した人が家に戻ったという連絡はなかった。今回、振興局職員、地元の職員がよく動き、みんなで助け合っていて職員のありがたさを感じた。また、班長、自治会の連携体制を作ってくれた。自分たちで認識してやっていけば、困ったことにならないと思う。ただし、孤立し、ライフラインが寸断されたときどうなるのか、どういふうにすればよいか分からない。</p>	<p>④ライフラインについては、南小国町、小国町と防災協定が結べないか検討しています。</p> <p>④地域の現状を把握しておくことが大事で、吹上町が見直した例も反省をもとに作ってきました。地震は予期しないときに突然やってくるので、孤立したときに避難グッズ等が一家庭に一つあれば、逃げられなくても72時間命につながる。緊急時の備えを心掛けてもらいたい。</p>	<p>○地震時の対応について</p> <p>④地震発生時、日田市のホームページからでは近隣の通行止め情報が分からなかった。2週間後、民間がカーナビを使った道路情報を地図が分かりやすかった。震災時は、自治体が連携し、全体の通行止め等の地図情報がホームページにとられずに、情報の揭示の仕方を検討してもらいたい。大災害が発生し、自分の家が住めなくなった場合、仮設住宅が用意されるが、その家に対して行政がどこまで支援するのか、事前に周知したほうがよいのではないか。</p> <p>○道路について</p> <p>⑤今回の災害は行政災害だと思う。災害を防げるような道路対策について、地方から中央へ声を出してほしい。今こういうことをやっているという情報を、不安を抱かないよう流してほしい。</p> <p>⑥上津江の市道広川木野々線と中津江の市道鶴田線が通行止めとなっており、迂回路を通っている状況である。震災から4か月も経つので、早急な対策をしてもらいたい。国道212号については、抜本的な対策を取ってもらいたい。それには要望書の提出が必要と言われたが、できれば都市整備課の方で作ってもらえないか。</p>	<p>④災害時において、近隣の情報をどういふうに生かして対応していくか考えたい。災害支援金は、半壊、全壊によって金額が違います。全壊で300万円。解体費用は自己負担であったと思います。大きな災害地になると支援金や義援金があるので、県や市で分配して見舞金を渡している状況です。全壊か半壊かの判断基準は難しいと思います。平成24年の災害のときに、全壊は1件であったが、家が流されてしまったときは見舞金で対応しました。</p> <p>⑤大きなライフラインとして、国道212号を付け替えてほしいという働き掛けを行っています。試算すれば少なくとも180億円ほどかかるが、国にやってもらうよう対応しているところです。</p> <p>⑥国道212号は県が管理し、県の事業で実施しています。県に212号の付替えをお願いしていますので、沿線の関係市民から、要望書を市や県知事宛に上げてもらいたい。原文が必要であれば、市で作成してもかまいません。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑤平成24年の豪雨災害を受け、平成24年に自主防災組織を立ち上げて、防災の意識付けを行っているが、昼間は消防団がない。自治会も高齢化している。今回、各地区が孤立した状態で、光ケーブルが切れて情報が入ってこなく不安であった。状況が見えなかったのも、いち早く情報を確認する振興局の役割は大きい。消防団の位置付けをどういう形とするのが大切であり、消防団だけでは対応はできない。防災の体制をどうするのか、柔軟な自主体制、対応できるものを作ってもらいたい。</p> <p>⑥今年から自治会長が要請をすれば、消防団の出動ができるように決めた。今年の梅雨時においても、自治会長の要請で消防団に出てもらった。上津江ではそういう体制を取っている。</p> <p>⑦まだ、自主防災組織ができていない。地震はいつくるか分からないので組織体制を今年中に作らなければいけないと思っている。避難勧告や命令は、誰が行うのか。</p> <p>⑧防災メールはどの状態のときにくるのか、結構頻繁にメールがくる。本当に役に立つのか。緊張感がないメールが多いような気がする。</p> <p>⑨メールに警報は入るが、解除が入らない。避難所にいる場合は、テレビ等があるので解除が分かるが、外にいる場合は分からず、いつまでも緊張していなければならない。解除の通知を入れてもらいたい。</p>	<p>⑤今回、消防団との連携がうまくいかなかった。消防団員も同じように被災しているので、連絡が届かなかった。携帯電話が使えない状況、ライフラインの支障が発生していました。一人ひとり、防災グッズ等がどこにあるか確認や、消防団の関係の在り方、役割をしっかりと決めていた方がよいです。まず自分ができる範囲のことをやり、消防団との連携が大切だと思います。なるべく早目に話し合い、体制作りをしていきたい。</p> <p>⑥行政には事後報告で、分団長から方面団長に報告して、方面団長から団長に報告すればいいようになっています。自治会長にはワンペーパーにまとめて、再度周知を図ります。</p> <p>⑦自主防災組織の活動の支援や防災士の養成支援については、資料に掲載しているので活用してほしい。また、地区で勉強会をしたいときは「ふれあい宅配講座」があるので、市に申請してほしい。災害のときの避難指示や避難勧告については、市長が行います。防災メールを登録してもらおうと、そちらに避難指示や勧告等の情報を送ることができます。町民全員の方が登録してもらおうとありがたい。防災士の方は、振興局に詳しく聞いてもらいたい。</p> <p>⑧気象庁から情報がくるので、そこから送っています。一方通行で申し訳ありません。必要な情報をピックアップしてもらいたい。</p> <p>⑨解除情報を急いで出したいが、判断がつかないときがあります。できるだけ早く出したい。</p>	<p>○デマンドバスについて</p> <p>⑦現在、市営デマンドバスは、緊急の対応で行っています。本来は公共交通会議にかけて、運輸局の許可がないと運行ができません。全面開通をなるべく急いで、時間短縮を図りたいと思います。</p> <p>○その他</p> <p>(要望)平成23年10月に発行している「暮らしの便利手帳」は防災等のことも詳しく載せていて、とてもよいので現在版で新しいものを作ってもらいたい。</p>	

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑩上津江町では、以前、災害で死者が出ている。大雨のとき、足腰の悪い人をどうやって避難させるのか、みんなで話し合っていく必要がある。津江は、どこが崩れてもおかしくない。崩れたら死ぬということも伝えていかなければいけない。いち早く日田市が計画を立て、そこの地域に行ける道、安全な道を確保してほしい。</p>	<p>⑩ライフラインとしての道路について、ダブルネットワークという考え方を、もう一つの安全な道を確保しなければいけないと思っています。根本的には212号線を作りかえるしかないが、先日、関係する市や町と国会議員に集ってもらい、国に陳情したところ。山が崩れ、岩がどこから落ちてくるかわからない状況であり、そのため、来月、林野庁にレーザーを使って、地割れや地形の状態を撮ってもらうよう予算化してもらった。現状を確認しながら、的はずれがないような対策を取っていききたい。</p>		
	高瀬 (26)	8月10日(水) 19:30~21:00 高瀬公民館	<p>①銭湊町は一人暮らしの高齢者が多く、2回目の地震では8名が自治公民館に避難し、自治会役員と民生委員が泊まって対応した。高瀬地区の指定避難所は3箇所あるが、高瀬小学校しか開設しておらず、その連絡もなかった。銭湊町は南部中学校が近いので避難したかったが、電話しても出ず、行った人もいたが開いていなかった。高瀬小学校は遠すぎるので、自治公民館に避難した。このあたりの経緯を説明してほしい。指定避難所と自主避難所の違いを聞きたい。自分で避難できない高齢者の情報公開と命の大切さをどのように捉えれば良いのか。車で送り迎えするとき、2次災害にあった場合の事故補償はどうなるのか。</p>	<p>①南部中が未開設であったことは今回初めて聞き、申し訳なかったと思う。本来であれば全指定避難所を開設すべきだと思うので、戻って調べたい。今後このようなことがないような体制をつくりたい。要支援者について、吹上町の事例では、要支援者リストの作成、具体的な支援者の明記、要支援者との面談により意思の疎通を図っています。要支援者の中には、「なぜ、ここに要支援者がいることを知っているのか、個人情報だ」と言う方もいるが、平日頃の面談による意志疎通を図ることで、「このような場合は誰が対応する」等、細かく相談しており、今回もうまくいったと聞いています。情報を持っているのは、基本的に民生委員と自治会長だけであるので、平日頃から情報交換していればと思います。どうしても避難しないという方については、事故が発生しても民生委員や自治会長、地域の方の責任にはならないと思います。移動については、状況次第であるが、判断を考えて欲しい。豪雨災害と地震では状況が違い対応が難しいが、安全が確保された状況で移動して欲しい。また、長期間になった場合は、地域や役所に連絡してもらいたい。移動時の2次災害等の事故については、自己責任です。不安がある場合は、役所に連絡してもらえれば、責任を持って移動させます。</p>	<p>○ふるさと納税制度について ①ふるさと納税が少額の場合、事業として利用しにくい。琴平町では掲示板の整備を考えているが、掲示板の場合、自治会事業の助成が3分の1であるため、2分の1に増額して欲しい。掲示板に掲示するのは、99%程は市のポスターであり、大きくて3枚貼れば、もう利用できない。掲示板を新設する場合、30万円程必要であり、負担が大きいため、2分の1の助成をお願いしたい。また、少額の場合は、市が最低5年間程、地元が要望するまで保管して欲しい。</p> <p>○災害関連について ②防災無線が、高瀬本町の上の方にあるので、大部町の方には聞こえない。高瀬本町の下の方にも聞こえない。防災無線を下の方に場所を変えれば聞こえるので、位置を変えて欲しい。何年か前にも要望したが、できないとの返事であった。</p>	<p>①自治会活動補助金については、協議してみたい。また、ふるさと納税が少額の場合は、自治会単位で基金として積めるような制度に変えられないか検討していますが、総務省等に尋ねないといけない案件であるので、待つて欲しい。市が保管することは、無理だと思うので、違った形で使いやすようにしたい。</p> <p>②防災・危機管理室を現場に行かせるので、案内をお願いしたい。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>②高瀬地区は山や川の災害が多いところだと思う。ぜひ高瀬地区に関心を持って大水の時は危険なところだと考えて欲しい。</p> <p>③24災のとき、上野町の高齢者は南部中までが遠くて、避難するのが困難であり、上野町公民館に数組の方が避難してきた。そのとき、中ノ島地区の人が、避難所の「朝霧の館」が危険であるということで、上野町公民館に避難させてほしいと要望があり、自治会役員と相談して、避難させた実例がある。指定避難所について、再検討できないか。</p> <p>④病院の方から、「うちに避難して来ないか」と言ってもらった。ありがたいことで、今回は行っていないが、難しい規定があれば、今後、地域で十分検討していきたい。</p> <p>⑤災害後の家屋診断について、考えているか聞いた。また、災害必携のようなものを市民に配布することは考えていないか。配布する場合、その中に、地域で自主避難所等を書き込めるよう空欄にして欲しい。また、昭和28年災のとき、全国から見舞いをもらったので、今回の地震で金銭的・人的支援を行っていると思うが、恩返しをしたい市民もいると思うので、知らせたい。</p>	<p>②地形的に谷の深いところで、山の整理等を今後やっつけていかなくてはならないと思います。森林環境税を利用した伐採事業もあり、伐採して河川断面を確保するので、林業振興課に情報提供してもらえればと思います。</p> <p>③指定避難所は、耐震基準が満たされ浸水想定区域外であり、ある程度安全が確保できる施設を指定しているので、簡単には変更できません。89箇所の指定避難所があり、開設するためには、200人以上の職員が必要となり、増やすことは難しいです。豪雨災害の場合は、事前に把握できるが、地震の場合は突然発生するため、道路状況もあり、全部を開設することは難しいかもしれません。まず、自主避難所を含め、近くの安全な施設に避難してほしい。指定避難所への移動が困難な場合は、連絡してもらえれば、職員・消防・警察・自衛隊等、状況に応じて対応します。</p> <p>④地域で考えた自主避難所以外で、民間の安全な施設があります。24災のときの三花地区では、キャンソンの判断で避難の受け入れを行ってもらった。指定避難所以外で、地域に安全な施設があれば、行ってほしい。病院については、医師会にお願いしているが、災害発生時、人工透析の患者等を受け入れる協定を進めているので、情報があれば知らせてほしい。</p> <p>⑤後ほどの「家屋の耐震診断・改修制度について」の中で回答します。自治公民館の耐震関係についても、補助金を出す方向で進めているので、9月議会以降、議決すれば対応したいと思っています。地域で安全な場所があれば、自主防災会議の中で決めてもらいたい。指定避難所にとらわれず、短時間に移動できる場所があれば自主避難所にして欲しい。ダムについては、国交省のダム統監と連絡をとりながら報告会を開いているが、三隈川本流で氾濫することは考えにくいということである。それから、今回の地震見舞い等については、自治会連合会から益城町・由布市に支援金を送った。また、南阿蘇村に市職員を派遣し、民間の支援も入っています。</p>	<p>③上野町5班も、市の放送や消防の放送が聞こえない。もう少し、聞こえるようにしてほしい。中ノ島公園でやっているゲートボールの声の方が、はっきり聞こえる。なんとかしてほしい。</p> <p>○観光事業関連について (提案)各町内・各地に記念碑・詩碑等があるが、やな場の近くの碑は前の構造物で見えない、またペンキが落ちて読めない。見えるように整備してほしい。また、観光事業の中で、記念碑等の案内地図(説明付)を作成して紹介してほしい。また、市から発刊されるものに、横文字が多過ぎる。高齢者は横文字がわからないので、高齢者に対する親切やサービスのためにもお願いしたい。</p>	<p>③今回、放送内容を聞けなかった方のために、電話による確認ができるようにしました。火災の電話確認もできるようにしたので、利用してほしい。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑥高瀬小学校に2回避難したが、1回目は100名近い方、2回目は20名程の方が避難していた。南部中が開いてなかったのが、先ほど話のあった岩里病院に了解を得て自主避難場所に指定している。また、銭漕公民館も指定している。吹上町の場合、自治会で毛布を用意しているのか、また、広報車を持っているのか知りたい。</p>	<p>⑥地区別の自主避難所は各地区で持っています。毛布等も若干揃えています。広報車も持っているようです。指定避難所には毛布等を届けるようになっていますが、津江地区の例では道路が通れず、物資を持っていくことができない状況で、地区で管理してもらうことを前提に物資を事前に持っていくように話をしています。臨機応変な対応も必要なので、責任を持って管理するよう自治会内等で協議してもらいたい。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
H班 班リーダー 江崎農林振興 部長	朝日 (21)	7月28日(木) 19:30~21:17 朝日公民館	<p>① 防災メールの登録方法を具体的に説明してほしい。</p> <p>② 日田市の防災計画の地震編では、震度6.5強~7の地震に襲われるとしており、そのような地震では家屋が倒壊し、街は壊滅状態であり、逃げるのが精一杯でグッズ等は持ち出せない。日田市に震度7の地震が来たときには街はどうなるのか、その時にはどのような対策をすべきかを考えるのが検証会議であり、今回の地震の程度をベースにして良かったとか、悪かったかとかを議論しても意味がない。地震のときに市が言わなくてはならないことは、とにかく命だけは助かってください、後は行政に任せてくださいと言うのが行政の役割ではないか。実際に熊本などの被災地・避難所に入って見て、それを把握しない限りきっちりとした防災計画は出来ない。</p> <p>③ 自主避難所で何か事故等が起これば、自治会長や副会長の責任となるのか、責任の所在はどうなのか。</p> <p>④ 各公民館に毛布等の備えをするのは、行政が考えるべきであり、プレハブなど倉庫を建て予算化すべきではないか。</p> <p>⑤ 一人暮らしの方や高齢者の方がいるので、自治会長に配布している防災無線を市が購入し販売してもらえないか。</p>	<p>①(登録希望者の携帯電話を使って実際に登録説明を行った。)</p> <p>②市の仕事として、何よりも市民の皆さんの安全が第一と考えており、速やかに逃げて、自分の身は自分で守って、その上で指定された避難所に避難していただき、市は出来る限り必要な物資を提供するようにしております。計画では震度7と言いながら今回の5強が初めてであり、その対応に不十分な点が多々あったと思い、検証会議を設け、現在も検証を行っています。</p> <p>③ 自主避難所での責任の所在については、具体的な事例に則して考えないと一概に誰に責任があるのかは言えませんが、市としては、安全な状況になったら、速やかに指定避難所に移動していただきたい。</p> <p>④ 現在17箇所に備蓄しています。数多くあった方が良いのかもしれませんが、全域でなく、特定の地域に災害が起こり、物資が足りないという状況になった時、ある程度集積していた方が補給ができます。全地域に備蓄するのは難しいが、備蓄の場所や品物については再度考えた方がよいとの反省点もあり予算等を考慮しながら、備蓄のあり方を考え直す予定です。</p> <p>⑤ 告知端末については、防災行政無線が聞き取れないという所もありますので取り付けていただきたい。ただ、水郷テレビには取り付けができませんが、KCV地域については今後、市とKCVとの交渉にもなりますが、現在取り付けが出来ません。</p>	<p>○ 移住受け入れ地域認定制度について</p> <p>① 空家バンクに登録している物件は、すぐに住める物件か。</p> <p>○ 朝日地区公民館のエアコン改修について</p> <p>② 4年前の公民館長引継ぎの時に、市が、次年度エアコンの改修をするとの申し送りを受けたが、修理をしながら今日までできている。何度もお話ししてきたが今だ改修されていない。</p> <p>○ 防犯カメラの設置について</p> <p>③ 5月にバイクで出た高齢者が行方不明になったが、市内要所に防犯カメラが設置されていれば、捜索も絞れたと思うが、行政が防犯カメラを設置する予定はあるのか。</p> <p>○ 危険家屋の指導について</p> <p>④ 倒壊の恐れのある空家に対しての市の指導はどうなのか。</p>	<p>① すぐに住める物件であり、現在31件登録されており、ホームページに登録物件を紹介しています。</p> <p>② 「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.26に記載】</p> <p>③ 基本、防犯カメラは警察が設置しますが、日田市が設置する予定はありません。</p> <p>④ 法律が出来て、危ない家屋に対しては、市が委員会を設置して、特定危険家屋の指定をし、所有者に対して取り壊し等の勧告は出来るが、現在、日田市では、勧告まで行ったケースはありません。しかし、今後そのような事態も考えられますので、今年度委員会を立ち上げたいと思っています。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑥平成25年に作成した各地区の高齢者の名簿が古くなっているから、作成してもらえないか。</p> <p>⑦水郷テレビの告知端末等設置するのに3~4万円ほどかかるが、その金額が腑に落ちない。</p> <p>⑧日田三隈高校の体育館が避難所になっていたが、今回の地震で、日田三隈高校は坂であり地震では危ないから、朝日小学校へと言われたが、なぜ日田三隈高校が指定避難所になっているのか。</p> <p>⑨自主防災組織で、自治会によって規模が違うから、自治会長等の意見を聞きながら、たとえば100世帯以下とか以上で、水害編と地震編のマニュアルを作成してはどうか。</p> <p>⑩地震で橋等が崩壊して、指定避難所には行けない場所もあるから、そのような場所には自治会が小さいと予算的に厳しいので保管庫を設置してほしい。</p> <p>⑪17箇所の集積保管場所を市民に周知してほしい。</p>	<p>⑥高齢者や要支援者の方の避難をどのようにするかが課題となっています。どの方が要支援者なのかについては、本人の同意なしにはリスト作成は出来ないので、同意を得てリストを作成したいと考えています。また、これまで要支援者に対するマニュアルが無かったから、作成したいと考えています。自分の身を守るのは第一ではありますが、近所の皆様の協力は絶対に必要と思っています。</p> <p>⑦金額の根拠を調べさせてください。 (後日回答) 【別紙対応方針等一覧表NO.10に記載】</p> <p>⑧日田三隈高校以外にも、日田林工高校や県立支援学校も指定避難所になっていたが、同じお話を伺いました。県立校との協力体制が取れてなく、指定避難所として指定するのが良いのかも含めて再検討していきます。</p> <p>⑨自治会によって人口も年齢構成も地形も違うから、地域にあった自主防災組織にしていきたい。自主防災組織のあり方等について、市に相談をしていただきたい。また、防災計画は水害編と地震編に分かれておりますが、地震の場合は突然発生するし、被害が市内全域に亘り、避難が長期化するなどありますから、防災のあり方をしっかりと考えていきます。</p> <p>⑩保管庫の関係につきましては、先ほど説明をいたしました。半額補助ではありますが支援策がございます。しかし、防災保管庫を含めた防災備蓄についての補助は考えていきたいと考えています。</p> <p>⑪17箇所の保管場所については、これから見直しを予定しており、要望があれば、検討していきます。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑫災害ではボランティアを活用することが大切であり、そのためにボランティアコーディネーターを日田市が養成すべきである。</p> <p>⑬備蓄物資は、道路の寸断等を考慮して、最悪のケースを想定して何処に置くのが良いのかを考えて備蓄場所を選定すべきである。</p> <p>⑭災害のあった場合に、何処に仮設住宅を作ればよいのかと瓦礫の集積所を何処にするのかを考えておくべきであり、震度6強や7に見舞われた時に日田市はどうなるのか、その時にどういった対策を講じたら良いかを真剣に考えて欲しい。</p>	<p>⑫大災害の時には、ボランティアの力が必要であり、ボランティアコーディネーターの養成については検討します。</p> <p>⑬備蓄の保管場所についても、しっかりと検討していきます。</p> <p>⑭最悪の事態を想定した対策を真剣に考えるところですが、言われる通りで今後の検討に活かしていきます。</p>		
	小野 (26)	8月4日(木) 19:00~20:55 小野公民館	<p>①平成24年の九州北部豪雨の時、自主防災組織が実際機能したかというところも言えない。小野地区は南北に長い特殊な地形で、市が指定した避難所に行くには道路が1本しかなく、その道路が寸断されると行けなくなる状況である。そこで、地域の人間関係を親密化し、消防団とも常に連携し合えるような組織を作ることが一番意味を持つてくると思う。特殊な地域での防災対策を行政とも連携して作っていきたいので、ご協力をお願いします。</p>	<p>①豪雨や土砂災害に対してはある程度の対応はできるが、今回の地震は情報をどうとるかが課題として見えてきました。早めに情報を提供できれば、ある程度の避難はできると思います。情報収集や発信体制をどうするか、今見直しているところです。ケーブルテレビでライブ情報を発信できるように検討しているが断線等もあるので、防災無線を利用したり防災メールにぜひ登録をしてほしい。とにかく災害発生後は、情報をしっかりと取っていただきたい。また、高齢者など要支援者に対して、吹上町自治会のようにリストを作っていただきたい。ただし個人情報問題とかもあるので、要支援者との面談を行うなど地域コミュニティを重視しながら、地域の方がしっかりと把握して確認していただきたい。今回の地震は、真夜中となり火災は発生していないが、時間帯によっては火災が起こり得るので、今後各地区とも相談しながら、火災訓練をも進めていきたいと考えています。また、今回の地震対応の中で、限られた職員数では日常業務もあるし無理があるので、職員配置についても見直していこうと思っています。そこで行政と住民との役割について確認し、協働について話していただきたい。住民一人一人が災害対応を意識し、自治会や消防団との連携を取りながら対応にあたっていただきたい。</p>	<p>○農業用設備 について</p> <p>①以前の豪雨の時、農業用水路が決壊した。県に要望すると写真を・・と言われたが、壊れてなくなっているものをどうやって撮るのか？その時は何とかしてもらったが、現状復旧にとどまり、補強はできなかった。補助率の嵩上げや、先々のことを考えた補強の方がいいと思うが。</p> <p>○通学路の安全対策について</p> <p>②7月初旬、中学生が自転車で通行の際、真横に生えている竹をよけようとしてけがをした。土木事務所に竹の除去を依頼したもので、その後も生えてくるので育友会で切っている。山の持ち主が遠方に居るため、許可が取れない。どうしたらよいか。</p>	<p>①災害復旧については、全国ルールの中で運用しており、機能の向上ではなく、あくまでも機能の復旧を目的としているものです。</p> <p>②市道であれば、道路パトロールカーが切ると思いますが、県道は市が勝手に手を出さずわけにはいきません。道路に出ている分は切っても良いと思いますが、山の中の竹伐採は手を出せません。放置していることは、所有者のモラルを問われることです。土木事務所に相談してはどうでしょうか。</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>②防災無線が全く入らない地域がある。電話も停電になると使えない。トランシーバーやハンドマイクなどで地域で防災グッズをそろえられるか。</p> <p>③災害が発生した場合に避難路を考えると、急傾斜地危険対策が必要な道路ばかりだ。市にお願いしているが、順番が遅く対応してくれない。</p> <p>④要支援者について、自分から避難するという意識を植え付けない拒否することがある。また、地域で協力して助け合うという体制を作っていきたい。体の不自由な方を避難させるのにタンカがなくても棒2本と衣服があれば作ることはできる。以前発生の水害時はテーブル椅子に座らせ、軽トラまで移動させた。勉強会等をして自分で避難するという気持ちを持ってもらいたい。</p> <p>⑤避難場所について、洋式トイレがない。調理できる場所があると便利。テレビがないので、情報不足。</p> <p>⑥地区の全体や自治会内部に情報を発信できるような設備はないか。</p> <p>⑦避難していると、市担当課より人数の報告の要請があるが、避難者が固定していないため人数の把握が難しい。</p> <p>⑧自宅の近くに防災無線のスピーカーがあり、防災無線の音が大きすぎる。いきなりサイレンが鳴るとびっくりすることもある。音を小さくすることができるか。</p>	<p>②必要なものがあれば地域で話して、小野の4地区それぞれで揃えていただきたい。自主防災支援策もあるのでそれらを活用して、地域にあったガイドブックを作成していただきたい。また、防災士資格を一人でも多く取っていただきたい。</p> <p>③すぐに対応することは難しいことから、地域の状況をぜひ承知していただき、避難対応ができるようお願いしたい。</p> <p>④支援の程度がまちまちなので、地区の方たちが要支援者の程度を把握して地域で要るものなど準備していただきたい。</p> <p>⑤ケーブルテレビを体育館施設につけるように検討しています。洋式トイレや調理場などがあると便利と思うが、予算的に厳しいです。</p> <p>⑥振興センター管内で自治会長から管内に発信できる防災無線の設備はあるので、それを利用していただきたい。</p> <p>⑦毛布等の配布物の確認のためと思うが、連絡体制を検討します。</p> <p>⑧地域内で協議をお願いしたい。また、担当課で調査します。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			⑨避難勧告と避難指示など、災害の程度に応じた対応をどうすればいいのか理解していない住民が多い。何らか周知してほしい。	⑨避難勧告や指示は以前より早めに出すようにしています。「勧告」は事前の周知であり、「指示」は命令です。今後、ふれあい講座など機会を利用してほしい。なお、広報ひたにより、分かり易い周知を検討します。		
	三花 (21)	8月8日(月) 19:30~21:00 三花公民館	<p>①秋原地区では、間伐作業に必要なとして林内作業道を多く開設しており、これが原因で以前からの水の道が変わり、'変なところから'水が流れてきている。規制することはできないのか。</p> <p>②市ノ瀬地区・北平の一尺八寸山北側斜面に太陽光発電設備の土地が整備されている。草木が一本も生えていない状態で、そこから流れている雨水などは谷川を流れてきて、ほ場整備している田の水路につながっている。これまで、何度もこの水路が壊れてしまったが、その度に復旧したものの、原形復旧しかできないので、同じことの繰り返しだ。受益者の負担も大変だ。市に復旧ではなく、改修の方法をお願いした経緯もあるが、難しいと言われた。何か方法を考えてもらいたい。また、太陽光発電設備の許可の件については、市に相談したら「県が担当だ」また、県に行けば「市だ」と、たらい回しされた。</p> <p>③改修工事の場合、市が全額負担してもらえるのか。</p> <p>④そもそも最初の工事の際、設計上で水路がブリキ(樋の形)となっており、実際はその下を水が流れているため、何回も壊れる。この部分を抜本的に代えないと解決しないと考えている。</p>	<p>①施工する森林組合と土地の所有者で、道の開設について調整し、水の問題など周辺への影響が考えられる項目については当然配慮が必要だと考えます。もし、対応しないなどの場合は、市役所へ相談をお願いします。</p> <p>②森林法による林地開発(一定の面積要件あり)の許可については県が担当し、森林の伐採については市に届け出る制度です。県に確認したところ、この案件は、面積要件では該当しないため、県の許可は不要となりました。林地以外も含めた土地の開発(面積要件あり)は都市計画法の県の許可が必要だが、太陽光発電設備の場合、建物ではなく工作物の扱いなので、この許可が不要になります。その場合も、市の環境保全条例で事前に協議が必要だが、この適用について、業者の認識がなく手続きをせずに開発が進んでしまった。業者には手続きをするよう求めています。なお、市条例において、罰則規定はありません。説明が不足しており、たらい回しと受け取られてしまったことについてお詫びします。</p> <p>次に、災害復旧事業を実施する場合、機能の向上が困難であるという問題だが、「災害復旧事業」の場合は、現状復旧が基本であり止むを得ません。ただし、この案件について、災害復旧ではなく本格的な改修工事による対応も考えられるので、管理組合等から市に相談をいただければ何らかの対応を考えたい。</p> <p>③市が全額負担することは困難です。受益者負担は必要となります。</p> <p>④「土地改良事業」については、そもそも老朽化した設備について大規模に改修するという「仕組み」そのものがないため、この対応として災害復旧事業を活用しているのが現状です。一度、現地を確認します。</p>	<p>○ふるさと納税制度について</p> <p>①自治会還流制度では、年度内に執行義務があるか。</p> <p>○防災無線について</p> <p>②水郷テレビの告知端末が設置できるようにお願いできないか。</p> <p>(要望)関連だが、八女市においては4年前の水害をきっかけに全世帯へ無償で無線機を配布している。ぜひ、日田市でも検討してもらいたい。</p>	<p>①確認します。 ※「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.13に記載】</p> <p>②KCV放送エリアでは、困難と考えています。確認します。 ※「後日回答」 【別紙対応方針等一覧表 NO.11に記載】</p>

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑤「太陽光発電」の土地の件については、流末の問題があるため、事業者例えば『調整池』を造ってもらう等対応をお願いすべきだ。また、設備が完成すれば、今以上に多くの水が流れてくる可能性がある。やはり、開発事業者には事前の指導を徹底すべきである。</p> <p>⑥今回の地震災害により、防災の緊急放送で避難所開設の連絡があった。指定避難所の「三和小学校」に行ったら、他の地区から避難している人がいた。聞いてみると「自分の地区の避難所である「光岡小学校」がまだ開設していなかった」とのこと。そこで、 ①どうして、開設の時間がずれたのか。 ②市の職員は避難所でどう対応すべきか等のマニュアルがあるのか。また、職員への指導や訓練はどうやっているのか。</p> <p>(意見)当時、寒かったこともあり、毛布がなかったため職員へ二度ほど毛布調達の依頼をした。翌日早朝におにぎり(2個パック)と飲料水(2リットル水)の支給はあったが、紙コップさえもない対応であり、非常識とさえ感じた。自分たちでお茶を沸かした。自助の精神は理解しているが、こういった初歩的な対応について職員への指導をお願いしたい。</p> <p>⑦自助・共助・公助の考え方の中で、特に「自助」が大切であり、有事の際に住民がいかに無事でいてもらえるかについては、平常時での防災への啓発が重要である。行政サイドから、地域住民の自助の啓発をどうすれば定着するか検証してもらいたい。</p> <p>⑧財津町では、水害に際して避難場所がない。水が多い。とにかく水が出たら家でじっとしていなさいと言っている。地震の際は、逃げなさいと言っている。つまり、避難場所へ行っては駄目だとした訓練を行っている。</p>	<p>⑤開発事業者へは指導を徹底していくが、法律により制限できるものではないことも、承知いただきたい。</p> <p>⑥①指定避難所は有事の際に市が指定して開設です。その際の判断で開設しない避難所もあります。4月の地震では全89の内48の避難所を開設しました。但し、市の不手際で指示したにもかかわらず開設できていない避難所があった可能性はあります。なお、職員の対応が遅れたケースがあったことも事実です。 ②避難所での職員の役割は、避難者の名前や人数の把握、不足している物資調達など本部への報告などだが、徹底していない点があったと思われます。お詫びしたい。</p> <p>⑦自主防災組織の活性化について、研修会のお手伝いを含めてニーズに沿った内容を考えていきたい。他の地区でもいただいたが、防災訓練も工夫すべきだとの意見があった。</p> <p>⑧ご意見のとおり、安全な避難所の確保に向けて見直しも考えていきたい。</p>		

平成28年度 協働のまちづくり出前懇談会総括表

市民参加総数 533人(1地区あたり22人)

区分	地区名 (参加人数)	開催日時 及び場所	災害時代の地域力について		その他	
			主な質問・意見	回答・対応	主な質問・意見	回答・対応
			<p>⑨高齢者などが遠くの指定避難所まで行くことが難しいため、地域の集会所(公民館)でも避難者への支援が受けられないかというお願いだ。そこには、テレビや炊事場もある。小学校では、テレビなどの情報設備がない。今後、小学校などで設備の充実も必要だ。</p> <p>⑩3年くらい前から、情報収集の件についてお願いしてきた。ぜひ検討をお願いしたい。また、体育館には放送設備が整備されており、災害時には放送室の鍵を開けてもらい利用できるようお願いしたい。また、指定避難所については、災害の状況により安全に避難できるような確に対応してもらい。</p>	<p>⑨災害対策基本法においては、市の義務として指定避難所の設置が定められています。一方、自主避難所は緊急の取り扱いとしており、落ち着いたら、指定避難所へ移動してもらう考え方です。従って、どこでも指定することは困難です。但し、これからは地域にあった避難所のあり方を考えていきたい。小学校の体育館のテレビの設置については、検討中です。</p> <p>⑩指定避難所の対応については、意見を参考にさせていただきます。</p>		